

Japan Trauma Data Bank Report 2018 (2013-2017)

Japan Trauma Care and Research

**The Japanese Association for the Surgery of Trauma
(Trauma Registry Committee)**



**The Japanese Association for Acute Medicine
(Committee for Clinical Care Evaluation)**



Figure
1A

JTDB参加施設名(全272施設、順不同) 2018年3月時点

手稲溪仁会病院	(独)国立病院機構 高崎総合医療センター	駿河台 日本大学病院	長野市民病院
北海道大学病院	SUBARU健康保険組合 太田記念病院	東京女子医科大学	下呂市立金山病院
北斗病院	さいたま赤十字病院	青梅市立総合病院	JA岐阜厚生連中濃病院
(独)国立病院機構 北海道医療センター	埼玉医科大学国際医療センター	日本大学医学部附属板橋病院	岐阜大学医学部附属病院
市立札幌病院	埼玉医科大学総合医療センター	東京医科歯科大学医学部附属病院	高山赤十字病院
日鋼記念病院	久喜総合病院	東京都立墨東病院	大垣市民病院
札幌医科大学附属病院	川口市立医療センター	東京都済生会中央病院	沼津市立病院
旭川赤十字病院	獨協医科大学越谷病院	国立成育医療研究センター	静岡赤十字病院
札幌徳洲会病院	防衛医科大学校病院	日本赤十字社医療センター	静岡済生会総合病院
弘前大学医学部附属病院	深谷赤十字病院	白鬚橋病院	順天堂大学医学部附属静岡病院
青森県立中央病院	船橋市立医療センター	東京都立多摩総合医療センター	聖隷三方ヶ原病院
八戸市立市民病院	順天堂大学医学部附属浦安病院	国士舘大学大学院	静岡県立総合病院
岩手医科大学	国保旭中央病院	昭和大学横浜市北部病院	静岡徳洲会病院
岩手県立久慈病院	日本医科大学千葉北総病院	(独)国立病院機構 横浜医療センター	掛川市・袋井市病院企業団立 中東遠総合医療センター
岩手県立中央病院	千葉大学医学部附属病院	日本医科大学武蔵小杉病院	藤枝市立総合病院
大崎市民病院	千葉県救急医療センター	済生会横浜市東部病院	豊橋市民病院
東北大学病院	松戸市立総合医療センター	聖マリアンナ医科大学	総合大雄倉病院
仙台市立病院	亀田総合病院	湘南鎌倉総合病院	藤田保健衛生大学
石巻赤十字病院	国保直営総合病院君津中央病院	横浜市立市民病院	名古屋市立大学病院
(独)国立病院機構 仙台医療センター	東京慈恵医科大学附属柏病院	小田原市立病院	半田市立半田病院
みやぎ県南中核病院	東京女子医科大学八千代医療センター	横須賀共済病院	愛知医科大学医学部附属病院
秋田赤十字病院	東京ベイ・浦安市川医療センター	平塚市民病院	名古屋掖済会病院
秋田大学医学部附属病院	千葉労災病院	藤沢市民病院	社会保険中央病院
山形県立中央病院	昭和大学病院	関東労災病院	岡崎市民病院
福島県立医科大学	(独)国立病院機構 東京医療センター	横浜労災病院	春日井市民病院
太田西ノ内病院	日本大学医学部社会医学講座	横浜市立大学医学部附属市民総合医療センター	小牧市民病院
会津中央病院	(独)国立病院機構 災害医療センター	東海大学医学部付属病院	(独)国立病院機構 名古屋医療センター
新潟市民病院	都立広尾病院	昭和大学藤が丘病院	三重大学医学部付属病院
新潟大学医歯学総合病院高次救命災害治療センター	武蔵野赤十字病院	北里大学病院	厚生連 高岡病院
新潟県立新発田病院	日本医科大学多摩永山病院	横須賀市立うわまち病院	市立砺波総合病院
魚沼基幹病院	東京医科大学	横浜市立みなと赤十字病院	富山県立中央病院
茨城西南医療センター病院	東京医科大学八王子医療センター	横浜栄共済病院	富山大学附属病院
(独)国立病院機構 水戸医療センター	慶應大学病院	海老名総合病院	金沢大学附属病院
筑波大学附属病院	聖路加国際病院	新百合ヶ丘総合病院	石川県立中央病院
筑波メディカルセンター病院	帝京大学	山梨県立中央病院	福井県立病院
茨城県立中央病院	東邦大学医療センター大森病院	相澤病院	福井大学医学部附属病院
水戸済生会総合病院	国立国際医療研究センター	諏訪赤十字病院	近江八幡市立総合医療センター
獨協医科大学病院	東京大学医学部附属病院	飯田市立病院	済生会滋賀県病院
自治医科大学	公立昭和病院	伊那中央病院	京都第二赤十字病院
栃木県済生会宇都宮病院	東京女子医科大学東医療センター	佐久総合病院佐久医療センター	(独)国立病院機構 京都医療センター
群馬大学医学部附属病院	日本医科大学付属病院	信州大学医学部附属病院	洛和会音羽病院
前橋赤十字病院	杏林大学医学部附属病院	長野赤十字病院	

Figure
1B

JTDB参加施設名(全272施設、順不同) 2018年3月時点

市立福知山市民病院	岡山大学病院	長崎大学病院
京都第一赤十字病院	広島大学病院	(独)国立病院機構 長崎医療センター
徳洲会宇治徳洲会病院	(独)国立病院機構	荒尾市民病院
京都府立医科大学	呉医療センター中国がんセンター	熊本赤十字病院
京都岡本病院	福山市民病院	(独)国立病院機構 熊本医療センター
りんくう総合医療センター	県立広島病院	済生会熊本病院
大阪府済生会千里病院千里救命救急センター	中国労災病院	大分大学医学部附属病院
大阪府立急性期・総合医療センター	(独)国立病院機構 関門医療センター	大分市医師会立アルメイダ病院
阪和記念病院	徳山中央病院	県立宮崎病院
(独)国立病院機構 大阪医療センター	山口県立総合医療センター	宮崎大学医学部附属病院
大阪府立中河内救命救急センター	山口大学医学部附属病院	宮崎善仁会病院
大阪府三島救命救急センター	徳島県立海部病院	都城市郡医師会病院
近畿大学医学部附属病院	徳島県立中央病院	大隅鹿屋病院
岸和田徳洲会病院	徳島県立三好病院	鹿児島市立病院
大阪大学医学部附属病院	徳島赤十字病院	米盛病院
大阪市立総合医療センター	倚山会田岡病院	沖縄県立中部病院
関西医科大学附属滝井病院	香川大学医学部附属病院	沖縄県立北部病院
大阪市立大学医学部附属病院	香川県立中央病院	琉球大学医学部附属病院
関西医科大学附属枚方病院	愛媛県立中央病院	浦添総合病院
堺市立総合医療センター	愛媛大学医学部附属病院	中頭病院
大阪警察病院	愛媛県立新居浜病院	豊見城中央病院
兵庫県立西宮病院	高知医療センター	沖縄県立南部医療センター・こども医療センター
兵庫県立加古川医療センター	近森病院	
兵庫県立淡路病院	高知赤十字病院	
兵庫医科大学病院	久留米大学病院	
神戸市立医療センター中央市民病院	飯塚病院	
神戸大学医学部附属病院	健和会大手町病院	
兵庫県災害医療センター	北九州市立八幡病院	
公立豊岡病院但馬救命救急センター	九州大学病院	
公立村岡病院	北九州総合病院	
関西労災病院	小倉記念病院	
製鉄記念広畑病院姫路救命救急センター	福岡和白病院	
奈良県総合医療センター	福岡赤十字病院	
奈良県立医科大学	(独)国立病院機構 福岡東医療センター	
和歌山県立医科大学附属病院	済生会福岡総合病院	
日本赤十字社和歌山医療センター	福岡大学病院	
鳥取大学医学部附属病院	雪ノ聖母会聖マリア病院	
島根大学医学部附属病院	新行橋病院	
島根県立中央病院	(独)国立病院機構 九州医療センター	
津山中央病院	佐賀大学医学部附属病院	
川崎医科大学附属病院	佐賀県医療センター好生館	
倉敷中央病院	(独)国立病院機構 嬉野医療センター	

本年の年次報告の対象症例は既に公表された2004年から2015年までの症例は全て含まれるが、2016年および2017年の症例は2018年9月10日の時点で各施設の倫理委員会の承認が得られていた102施設のための症例に限られる。

Figure
2

地方別JTDB参加施設数

施設数

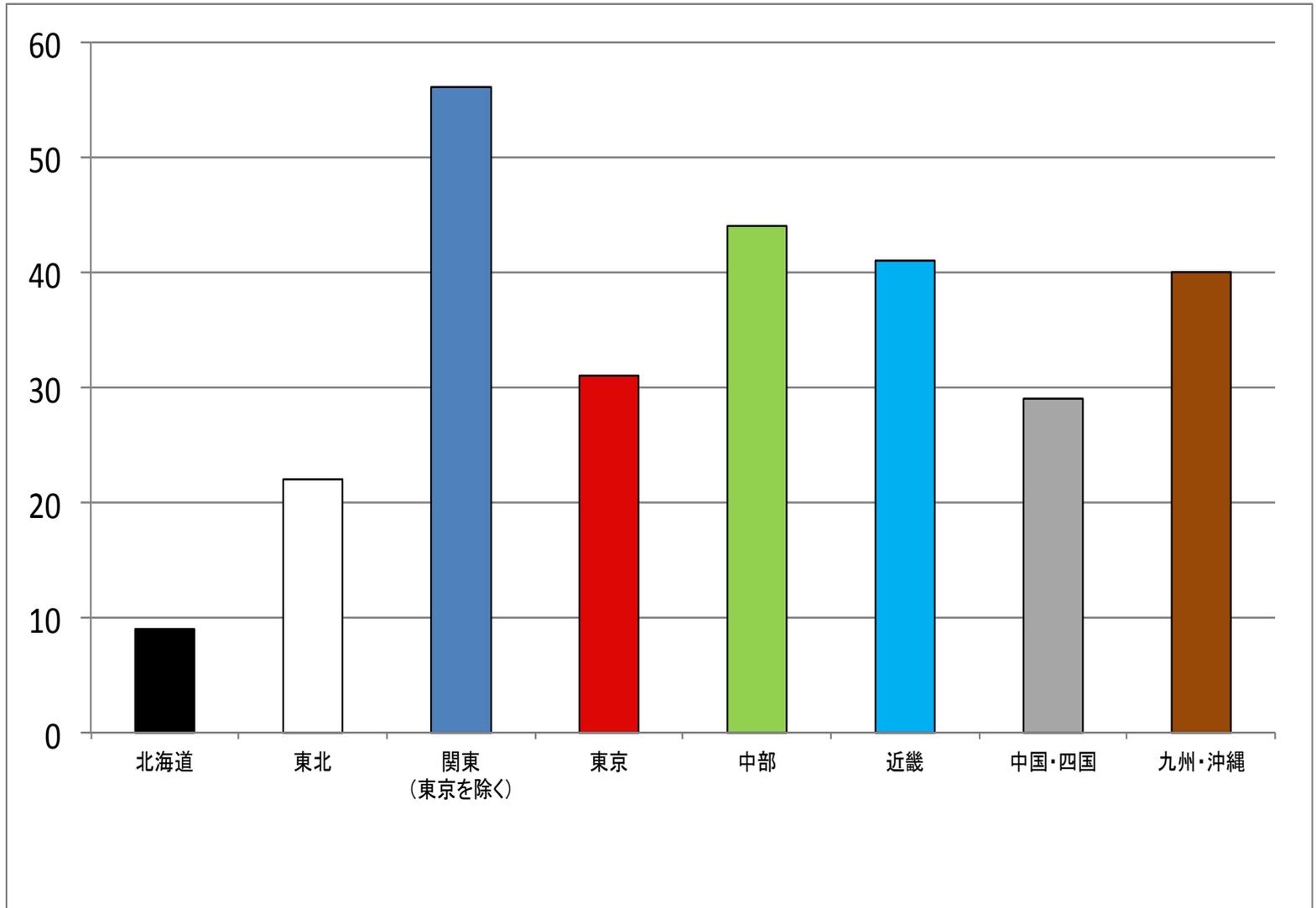


Figure
3

全症例年齢分布

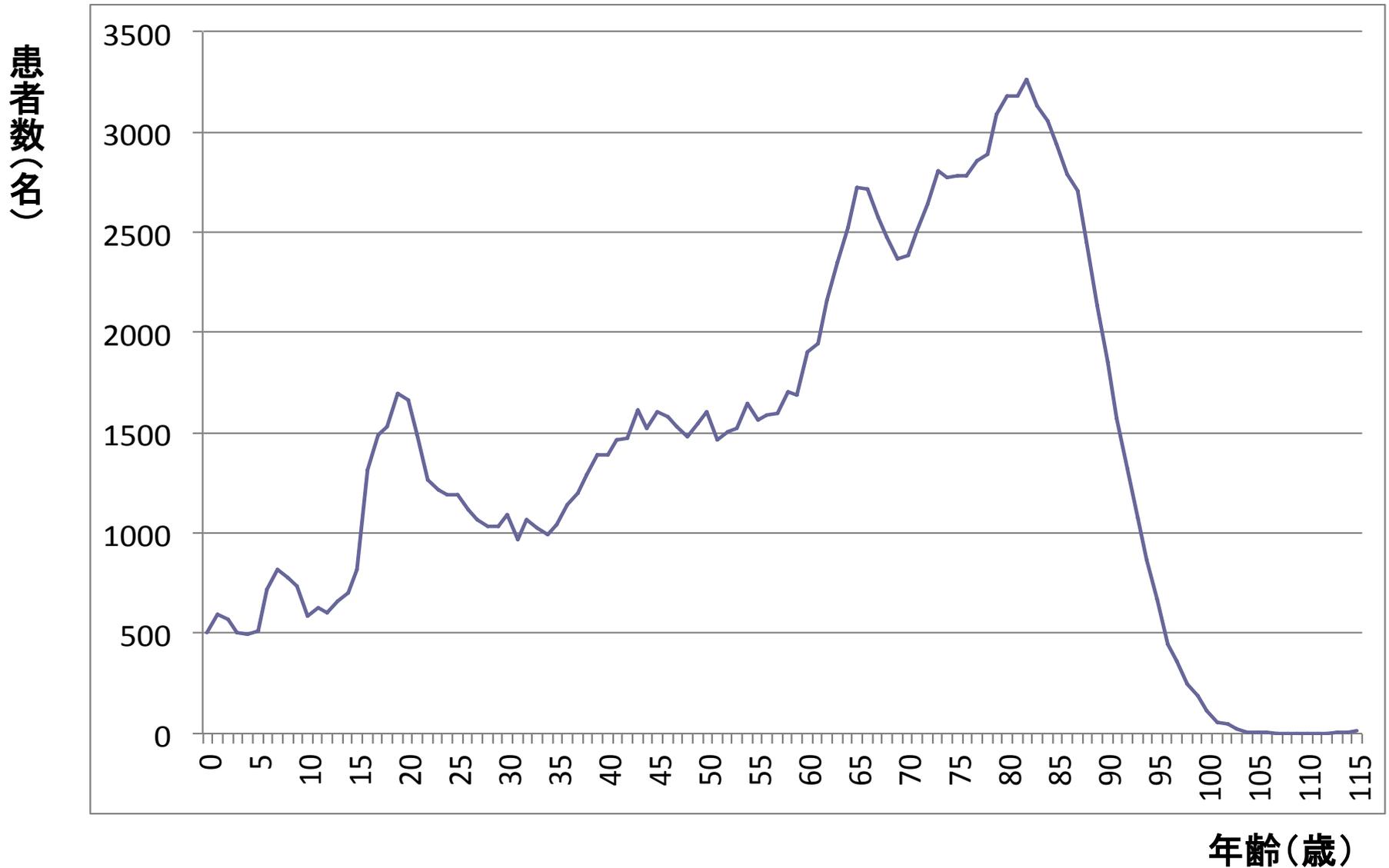


Figure
4

性別年齢分布

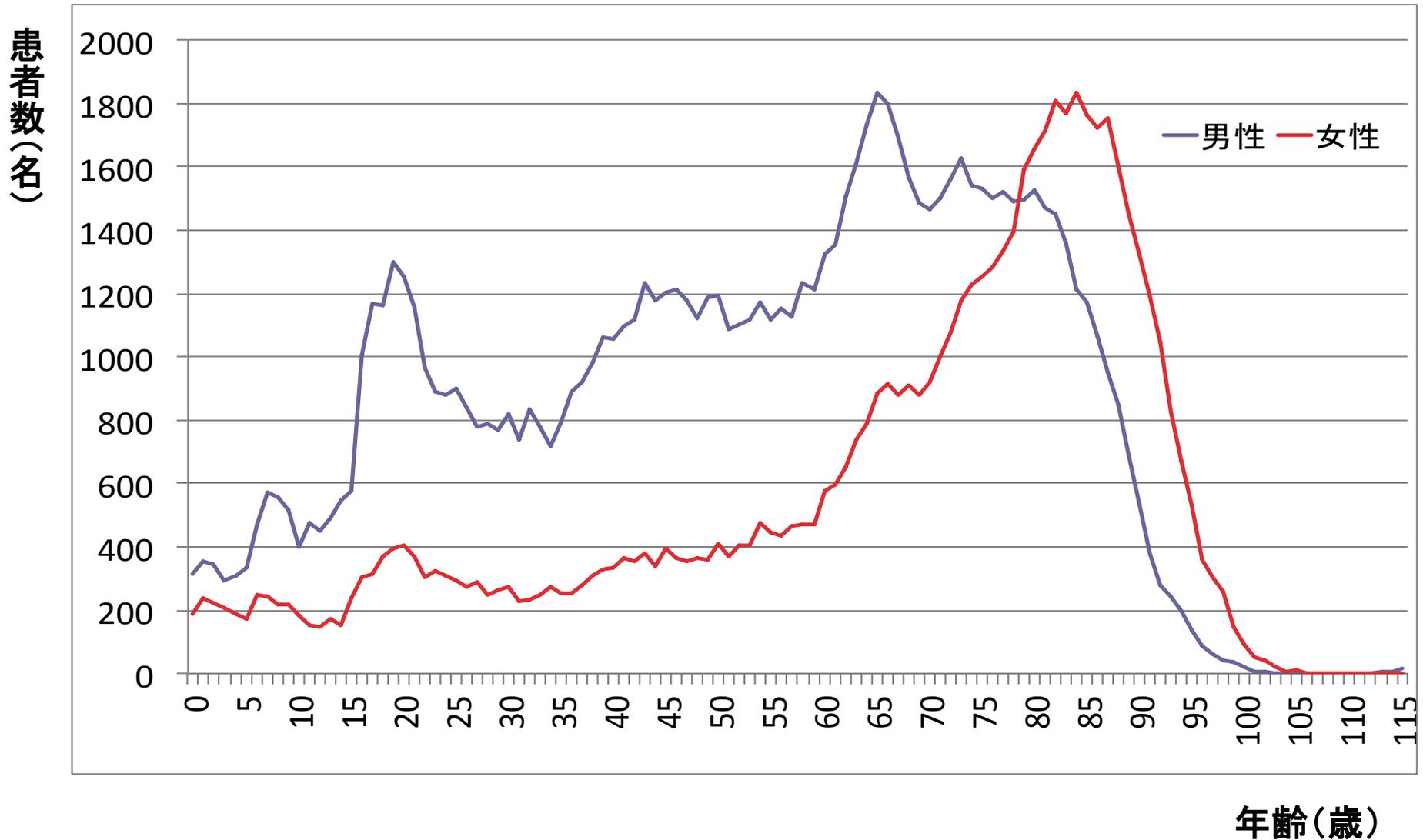


Figure
5

受傷機転別の患者数

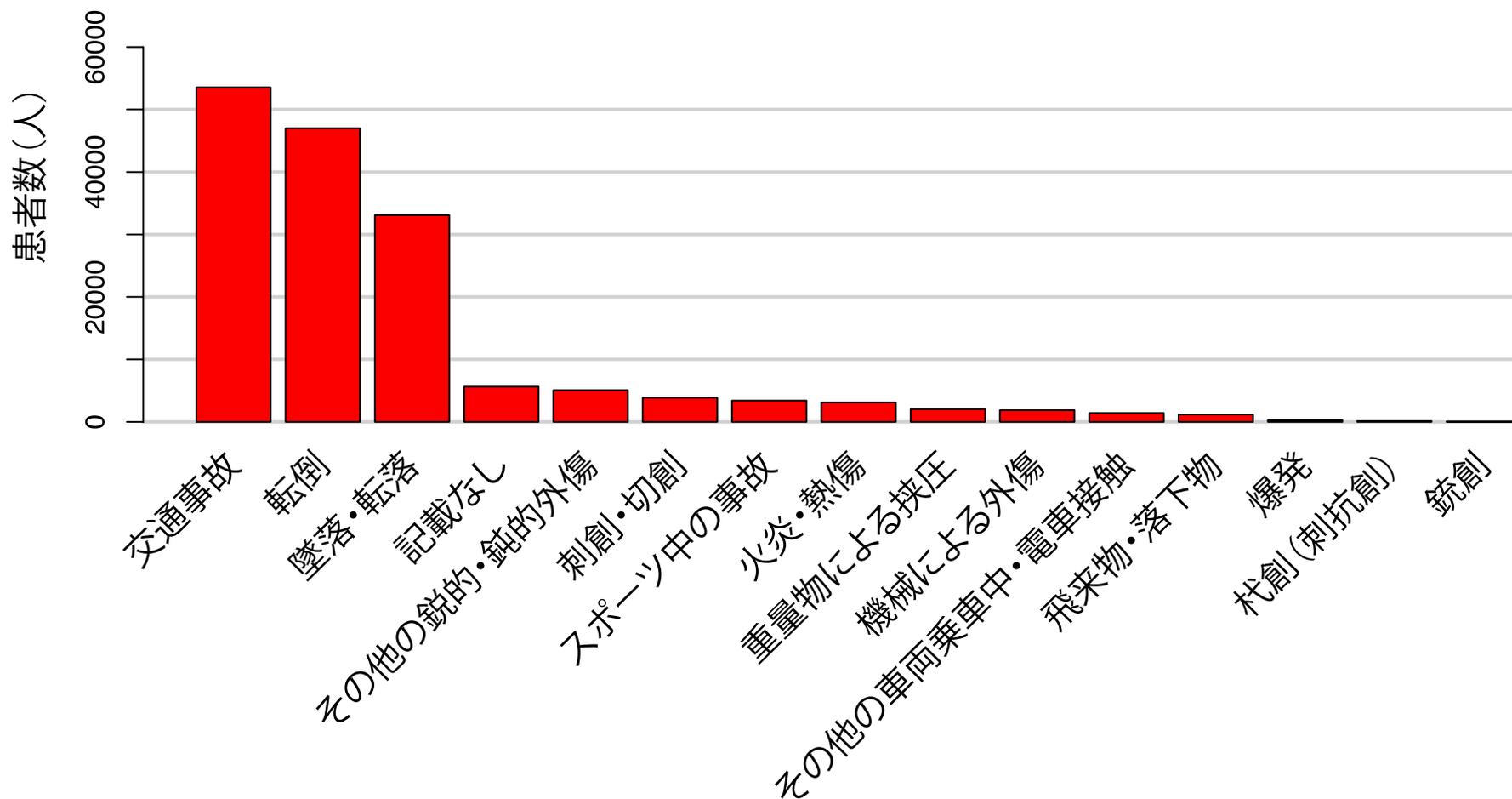


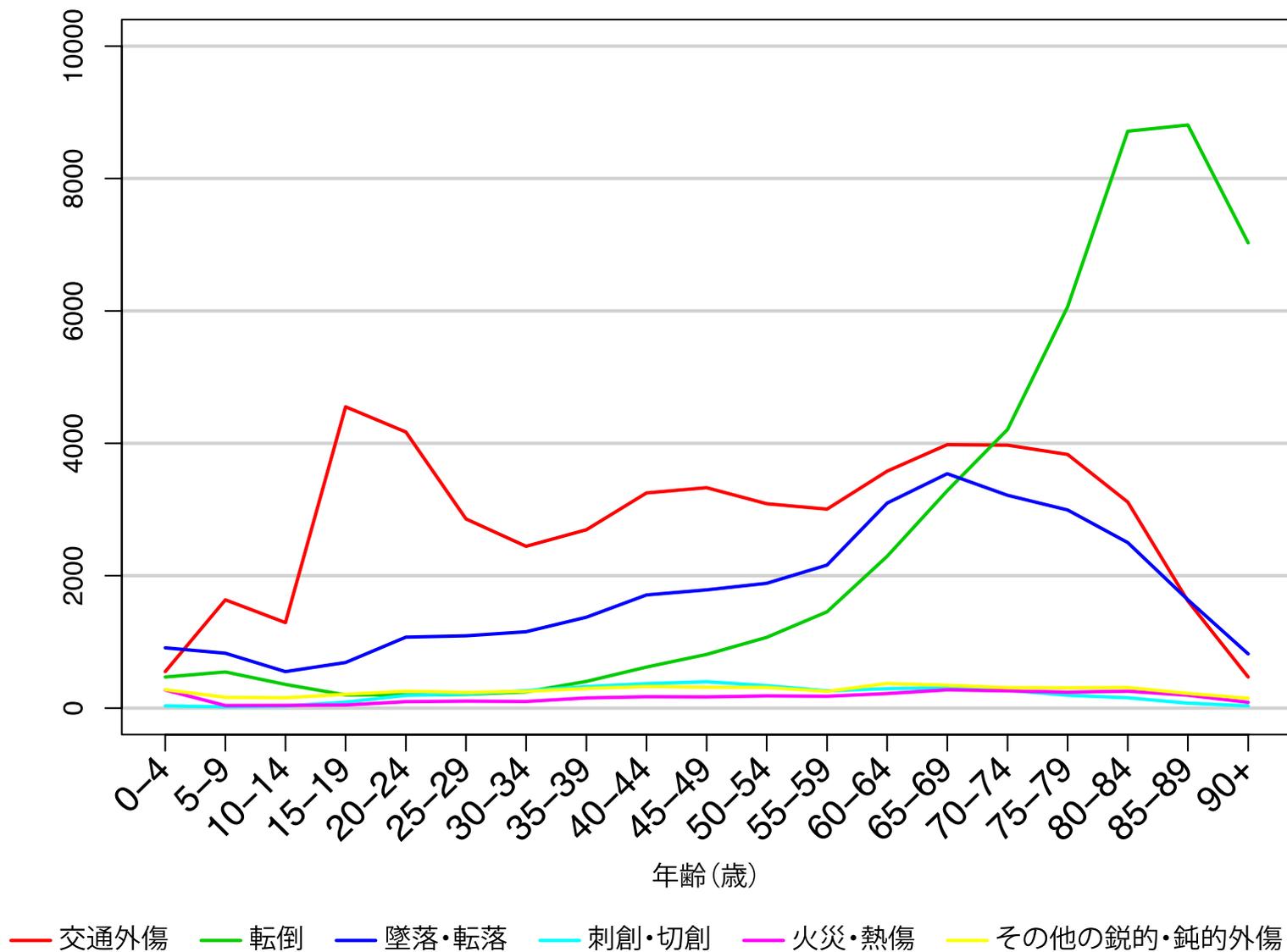
Table
5

受傷機転別の患者数の割合

受傷機転	患者数(人)	受傷機転別患者数の割合(%)
交通事故	53521	33.1
転倒	47012	29.1
墜落・転落	33074	20.5
記載なし	5637	3.5
その他の鋭的、鈍的損傷	5069	3.1
刺創・切創	3856	2.4
スポーツ中の事故	3397	2.1
火炎 / 熱傷	3112	1.9
重量物による挟圧	2033	1.3
機械による外傷	1871	1.2
その他の車両事故	1417	0.9
落下物、飛来物	1162	0.7
爆発	258	0.2
杵創(刺杭創)	133	0.1
銃創	34	0.0

Figure
6

受傷機転別患者数の年齢分布



Figure

7

受傷機転別の死亡数

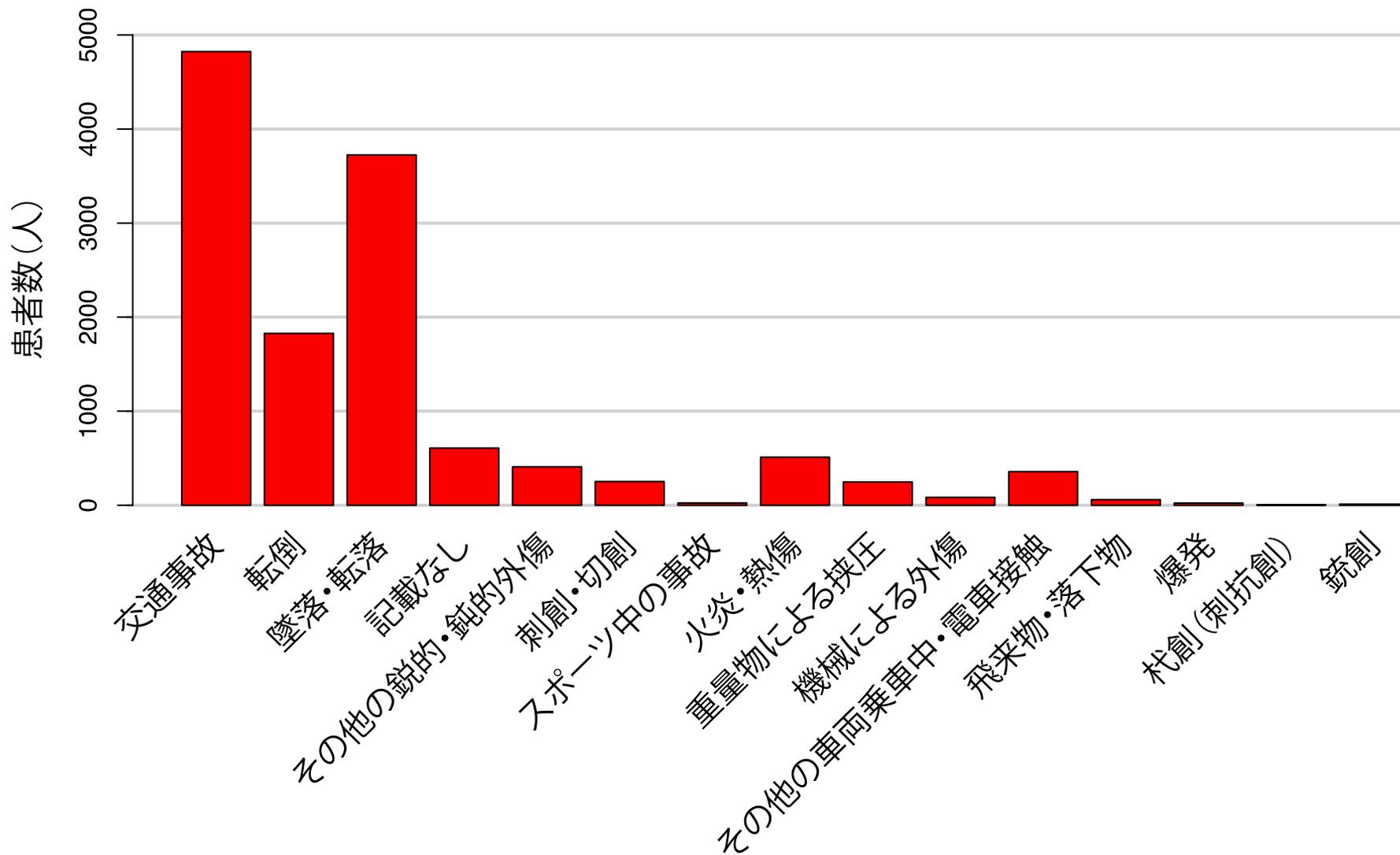


Figure
8

年齢別の患者死亡率

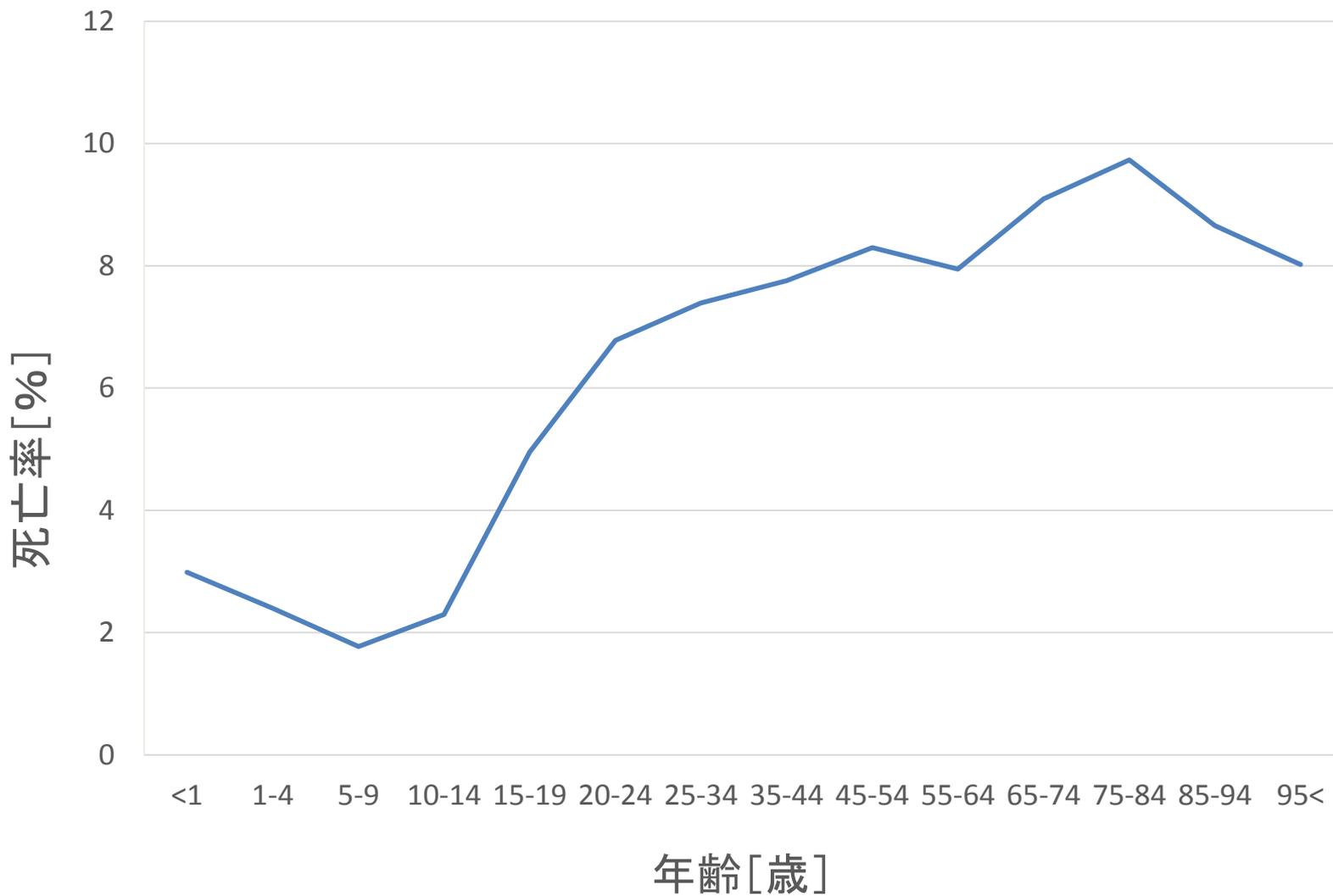


Figure
9

性別と年齢別の患者死亡率

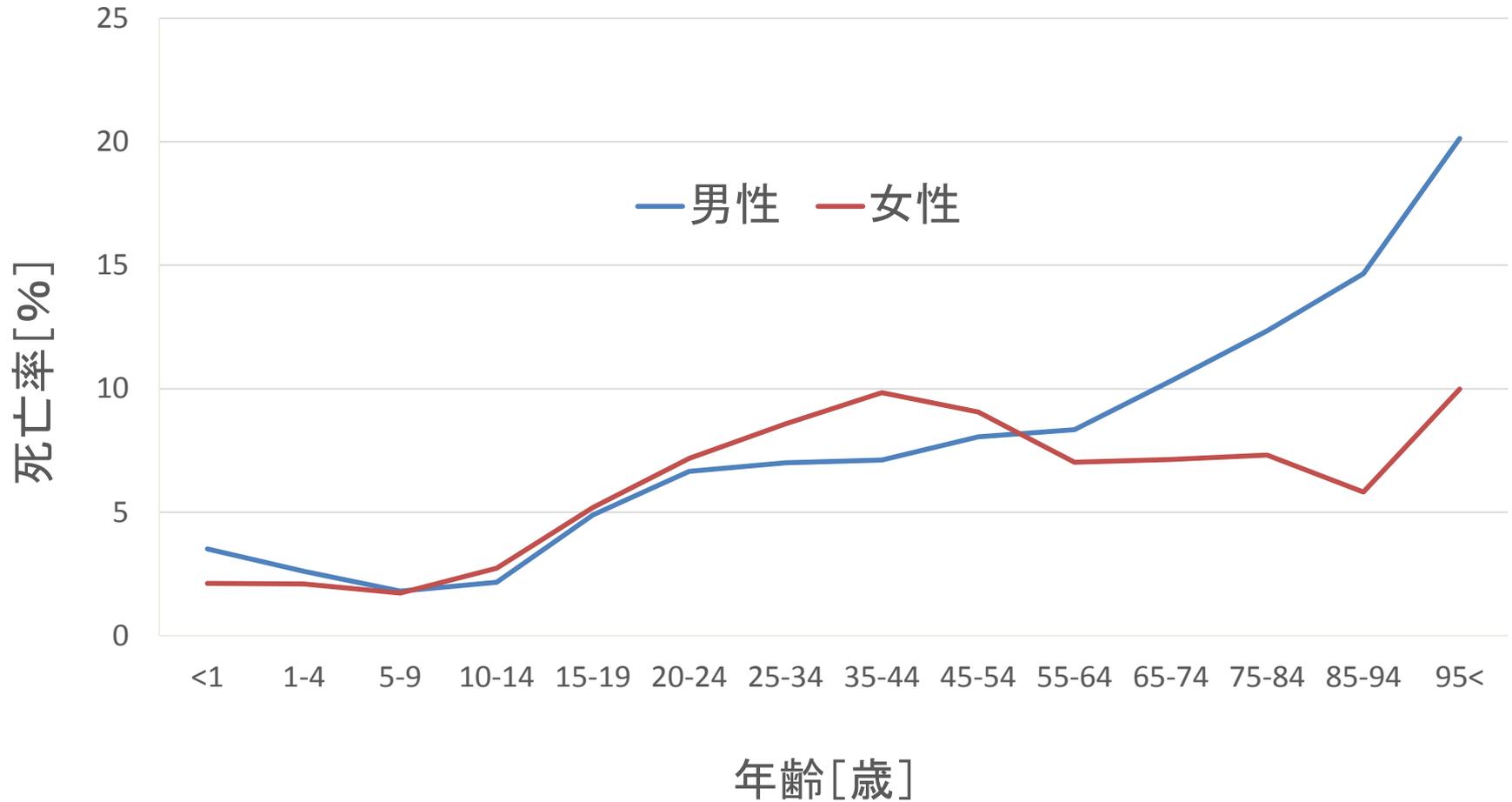


Figure
10

受傷機転と年齢別の患者死亡率

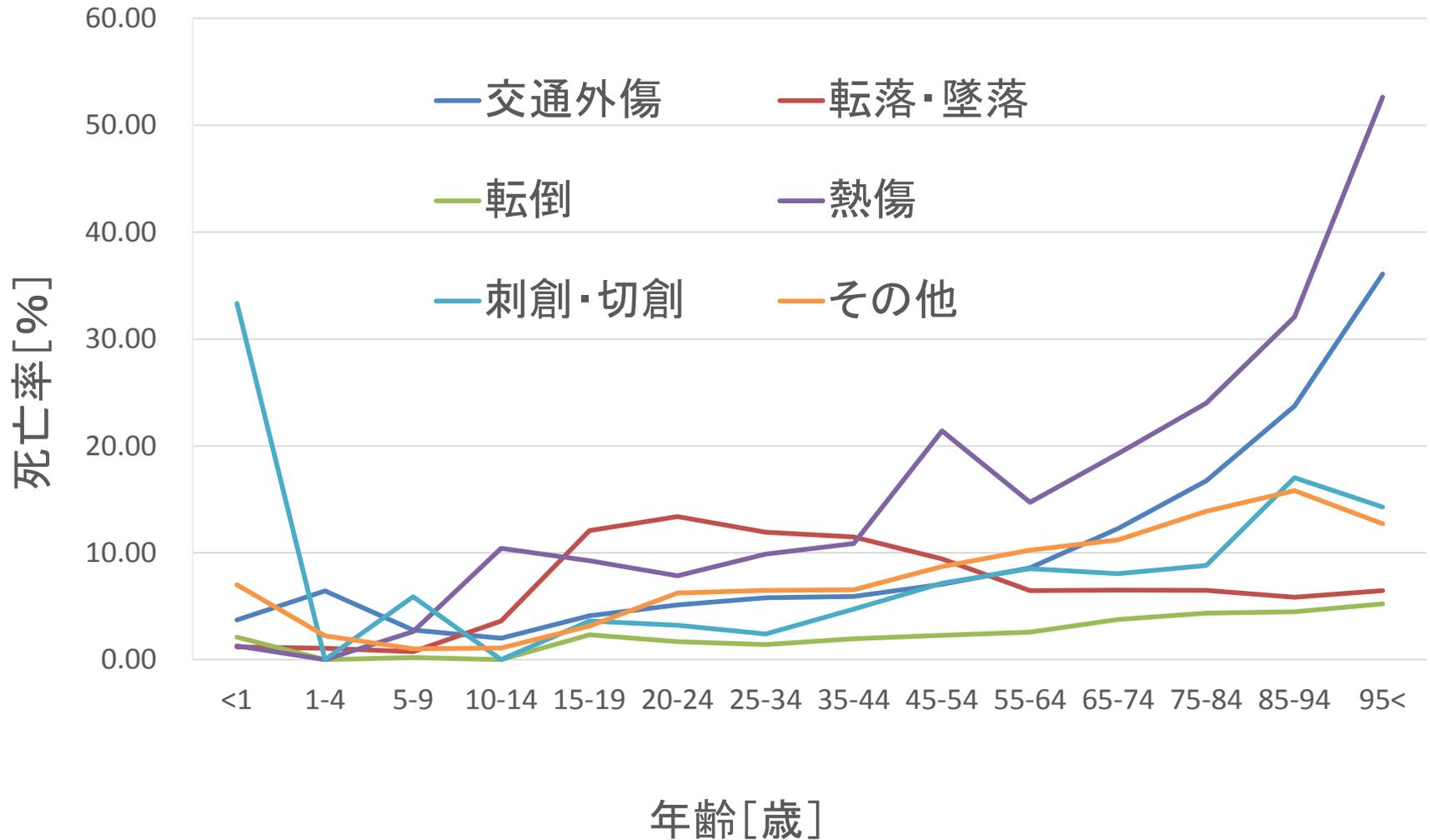
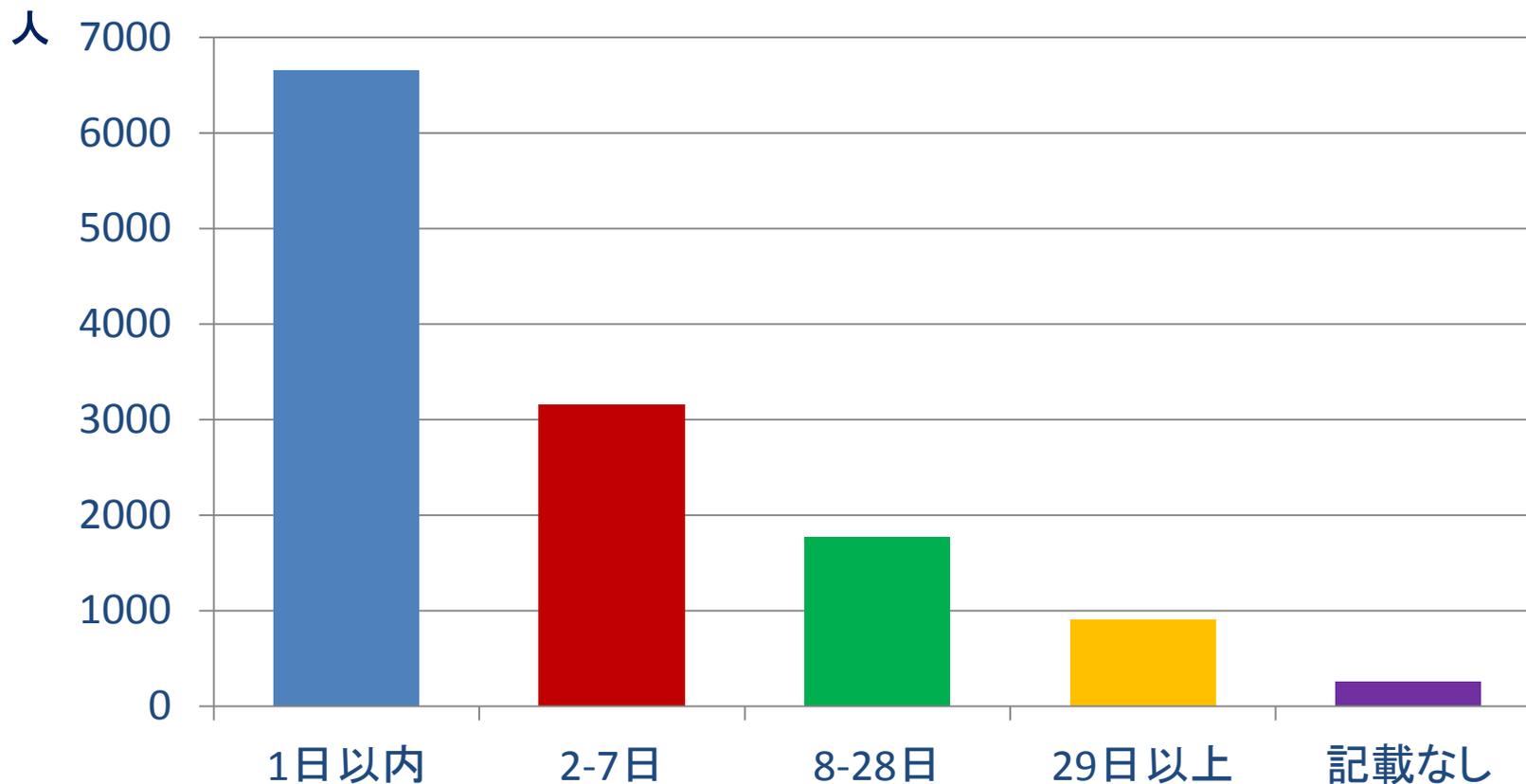


Figure
11A

死亡症例における入院日数別の症例分布 n =12,751



「1日以内」には、来院時心肺停止症例と初療室での死亡症例を含む。

Figure
11B

死亡症例における受傷機転別の入院日数別の症例分布

n = 12,751

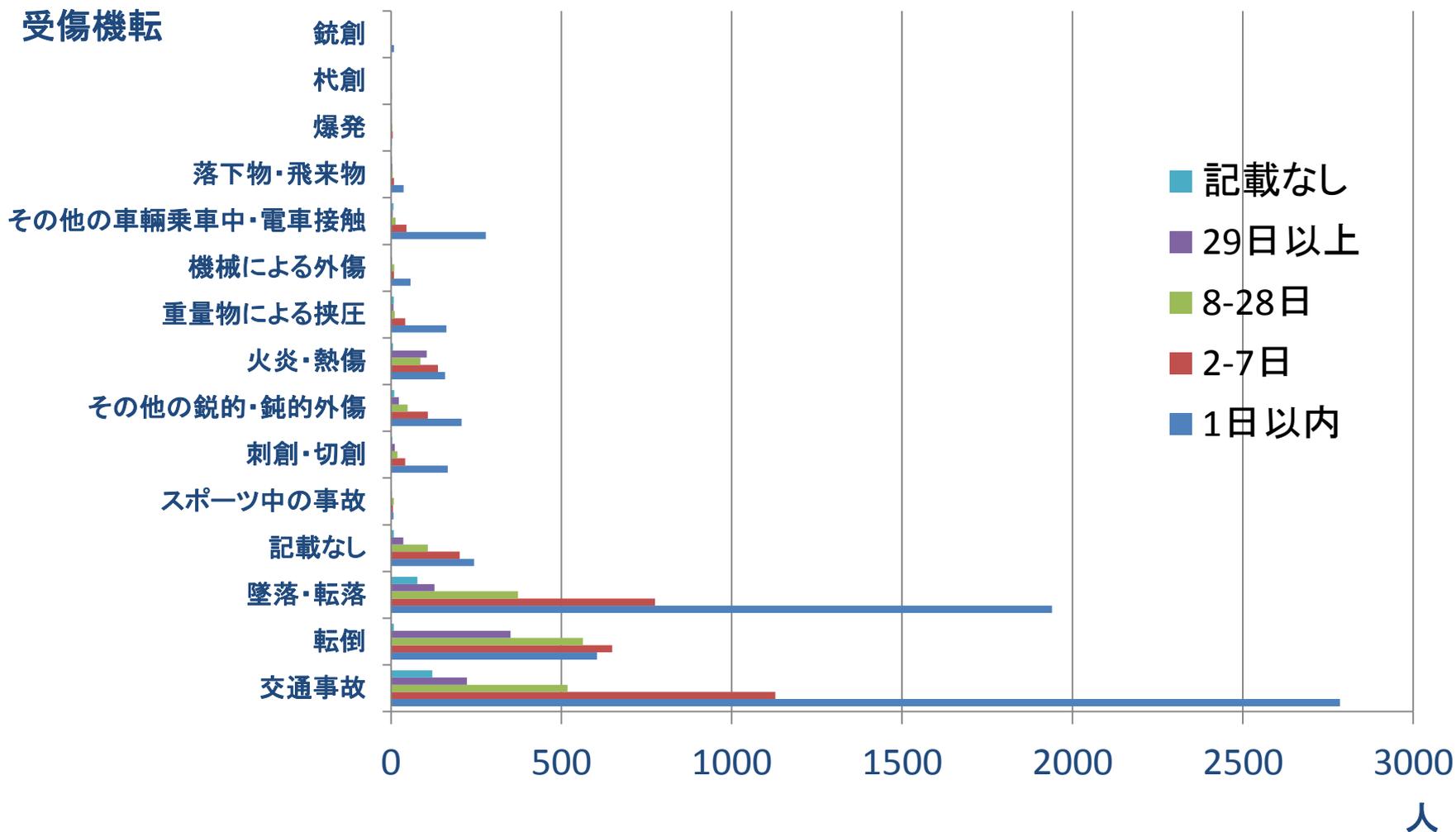


Figure
12

受傷機転別の入院日数別の症例分布 n = 146,890

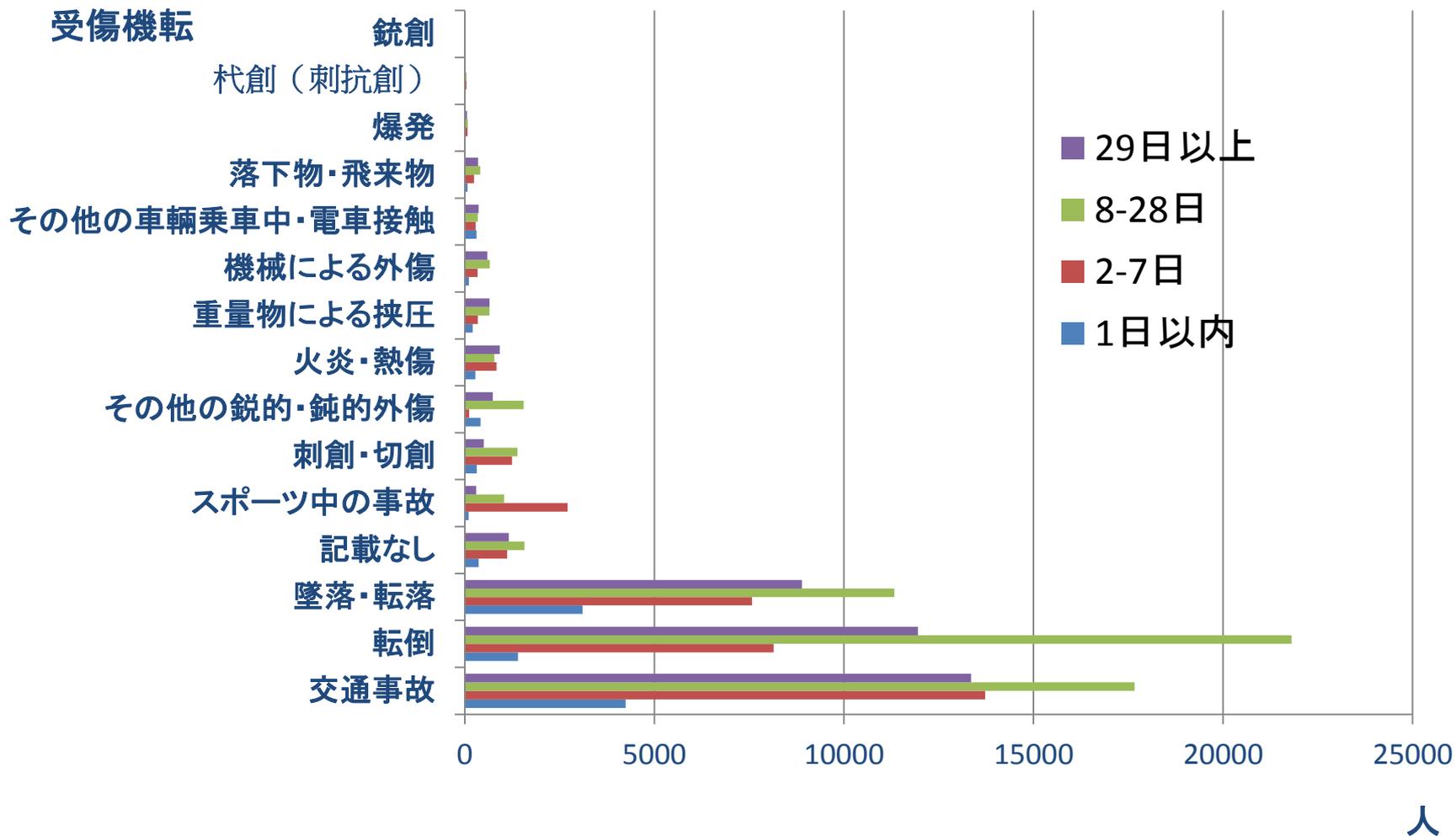


Table
12

受傷機転別の入院日数別の症例分布 n = 146,890

受傷機転 入院日数	交通事故	転倒	墜落・転落	記載なし	スポーツ 中の事故	刺創・切創	その他の 鋭的・鈍的 損傷	火炎・熱傷
1日以内	4241	1403	3103	367	101	312	415	279
2-7日	13726	8149	7574	1114	2707	1245	112	835
8-28日	17665	21806	11327	1576	1036	1384	1554	782
29日以上	13352	11948	8887	1160	302	504	737	920
計	48984	43306	30891	4217	4146	3445	2818	2816

	重量物 による狭圧	機械による 外傷	その他の車 輛乗車中・ 電車接触	落下物・ 飛来物	爆発	杓創(刺抗創)	銃創	計
1日以内	204	105	310	70	6	5	9	10930
2-7日	346	338	286	240	70	46	5	36793
8-28日	650	656	341	409	77	42	5	59310
29日以上	654	592	367	353	60	12	9	39857
計	1854	1691	1304	1072	213	105	28	146890

Figure
13A

受傷機転別の累積入院日数 n = 146,890 総入院日数 3,639,788日

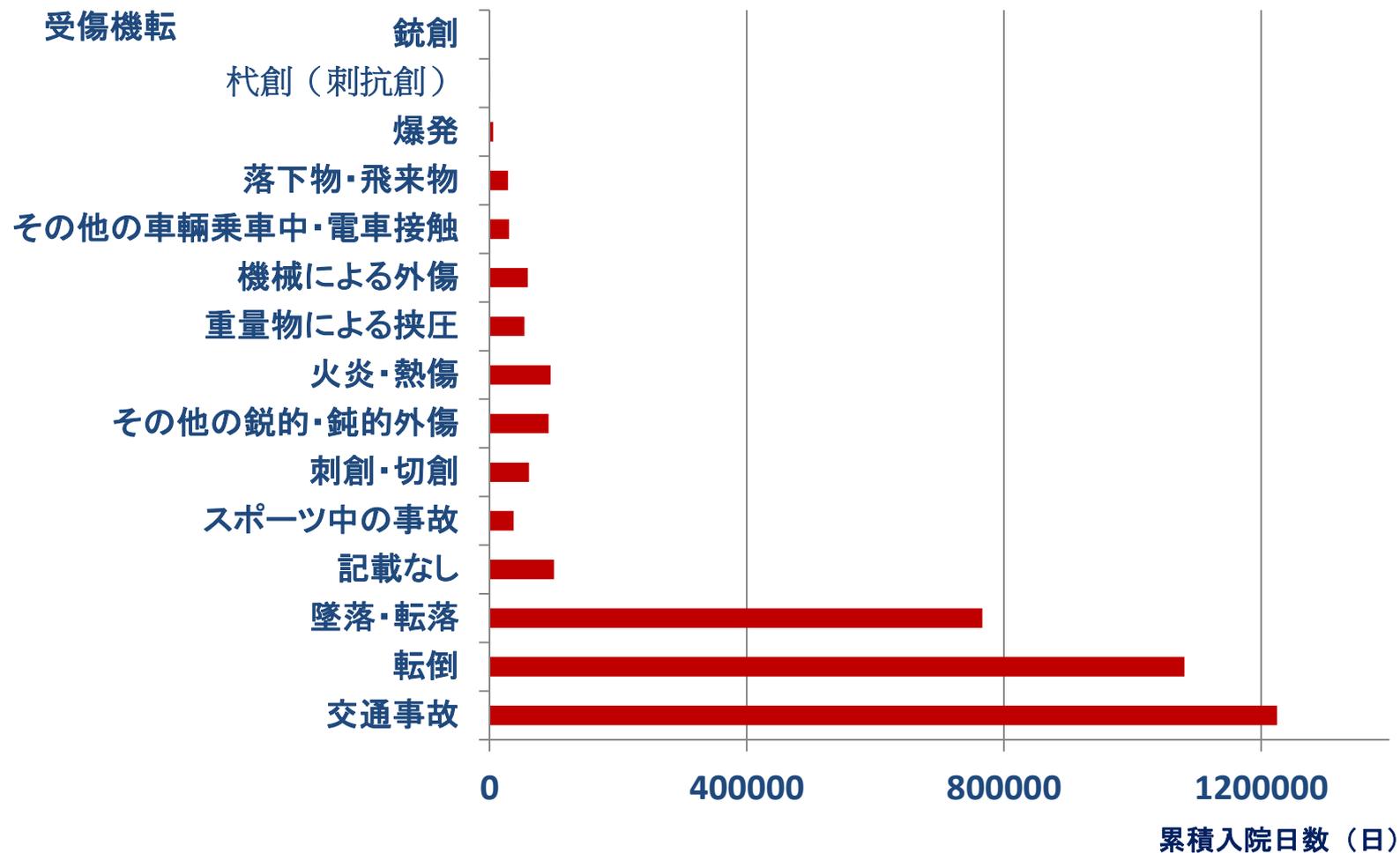


Figure
13B

受傷機転別の平均入院日数 n = 146,890

受傷機転

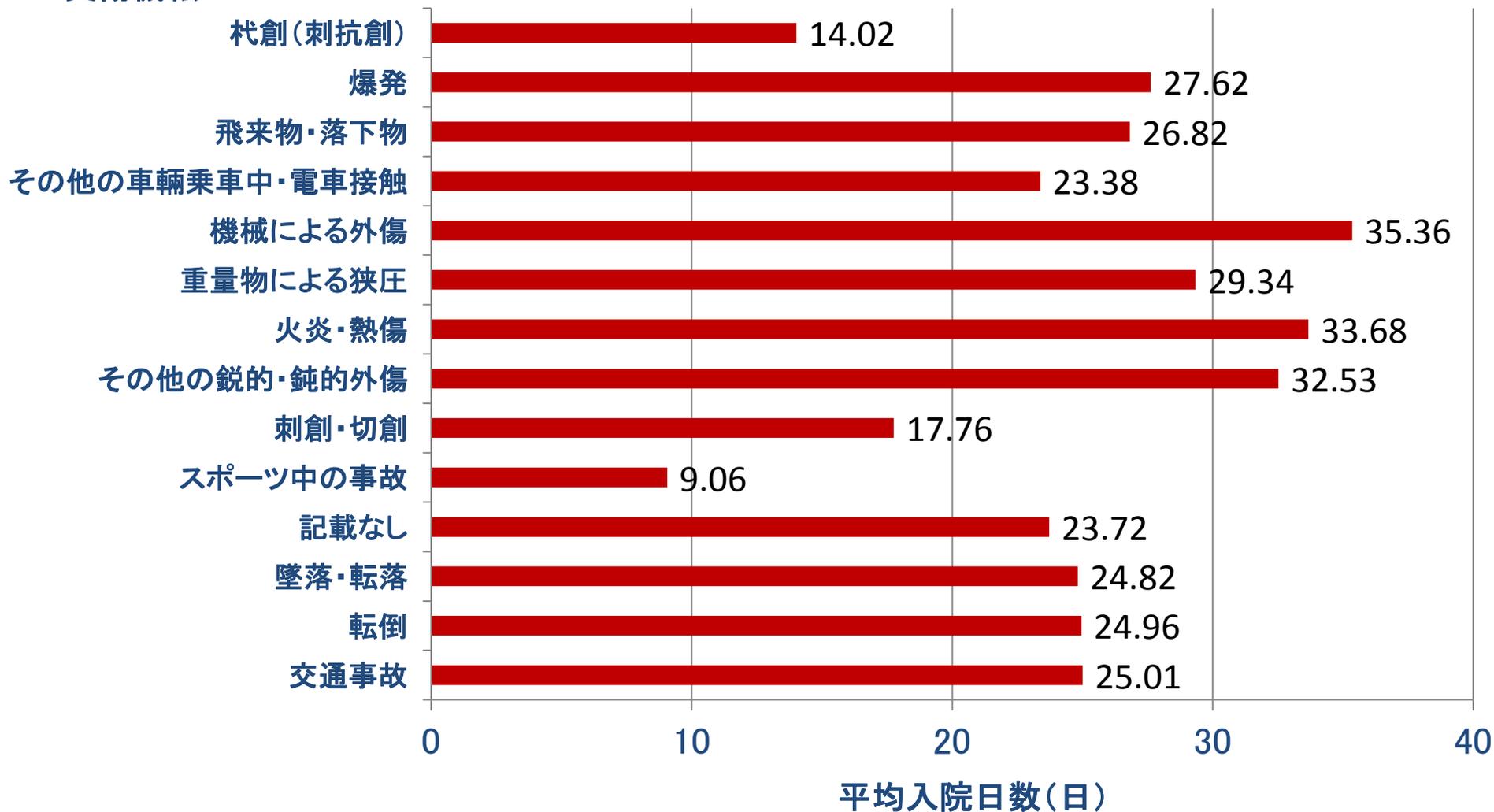


Table
13

受傷機転別の症例数、累積入院日数、平均入院日数 n = 146,890

受傷機転	症例数／%		累積入院日数	平均入院日数
交通事故	48,984	33.35%	1,225,150	25.01
転倒	43,306	29.48%	1,081,065	24.96
墜落・転落	30,891	21.03%	766,712	24.82
記載なし	4,217	2.87%	100,027	23.72
スポーツ中の事故	4,146	2.82%	37,545	9.06
刺創・切創	3,445	2.35%	61,193	17.76
その他の鋭的・鈍的外傷	2,818	1.92%	91,661	32.53
火炎・熱傷	2,816	1.92%	94,844	33.68
重量物による狭圧	1,854	1.26%	54,392	29.34
機械による外傷	1,691	1.15%	59,799	35.36
その他の車輛乗車中・電車接触	1,304	0.89%	30,489	23.38
飛来物・落下物	1,072	0.89%	28,755	26.82
爆発	213	0.15%	5,883	27.62
杵創(刺抗創)	105	0.07%	1,472	14.02
銃創	28	0.02%	801	28.61
計	146,890	100%	3,639,788	24.78

Figure
14

ISSカテゴリー別の症例数と割合

N= 160,065

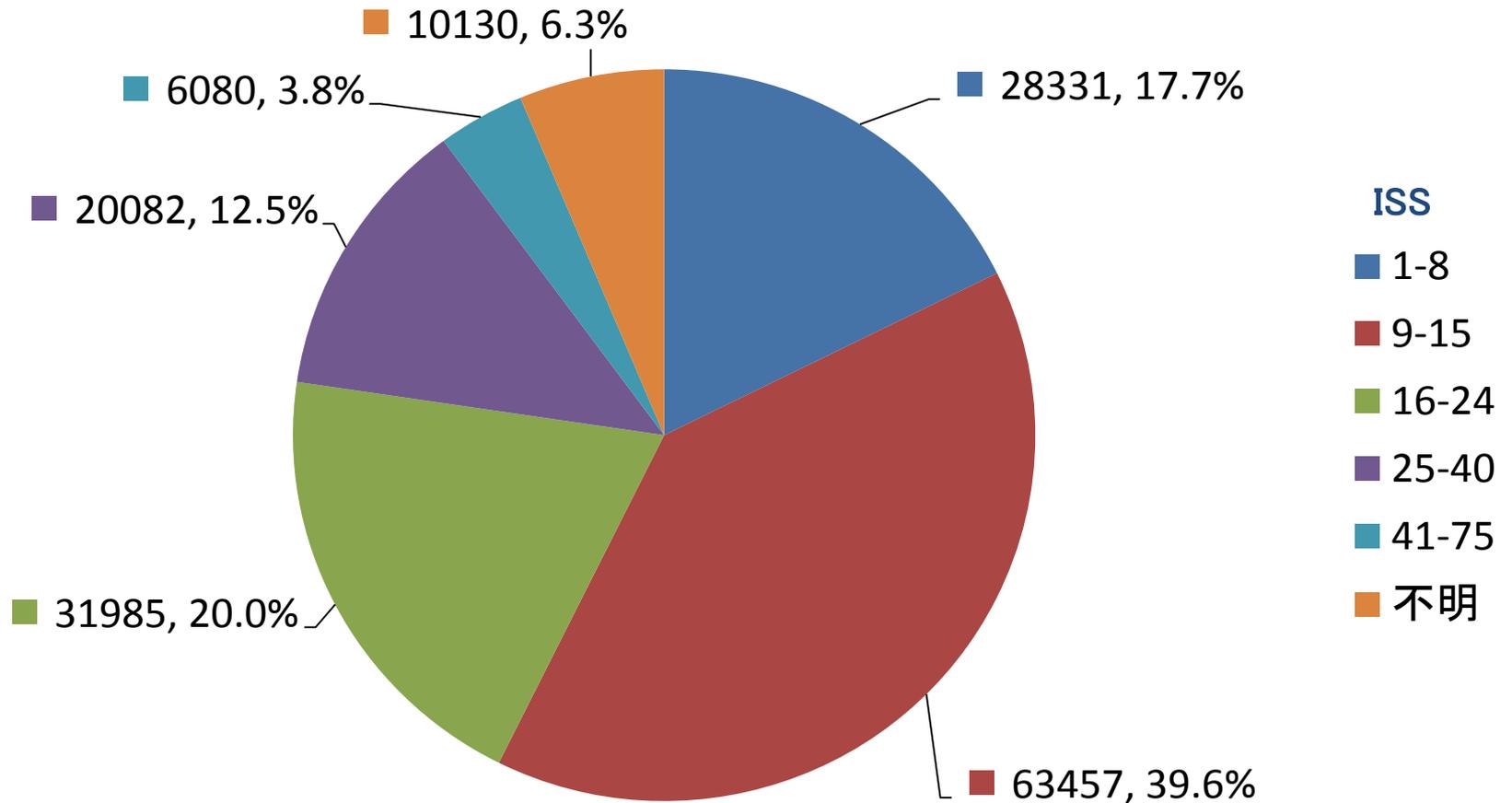


Figure
15

ISSカテゴリー別の症例数の年齢分布

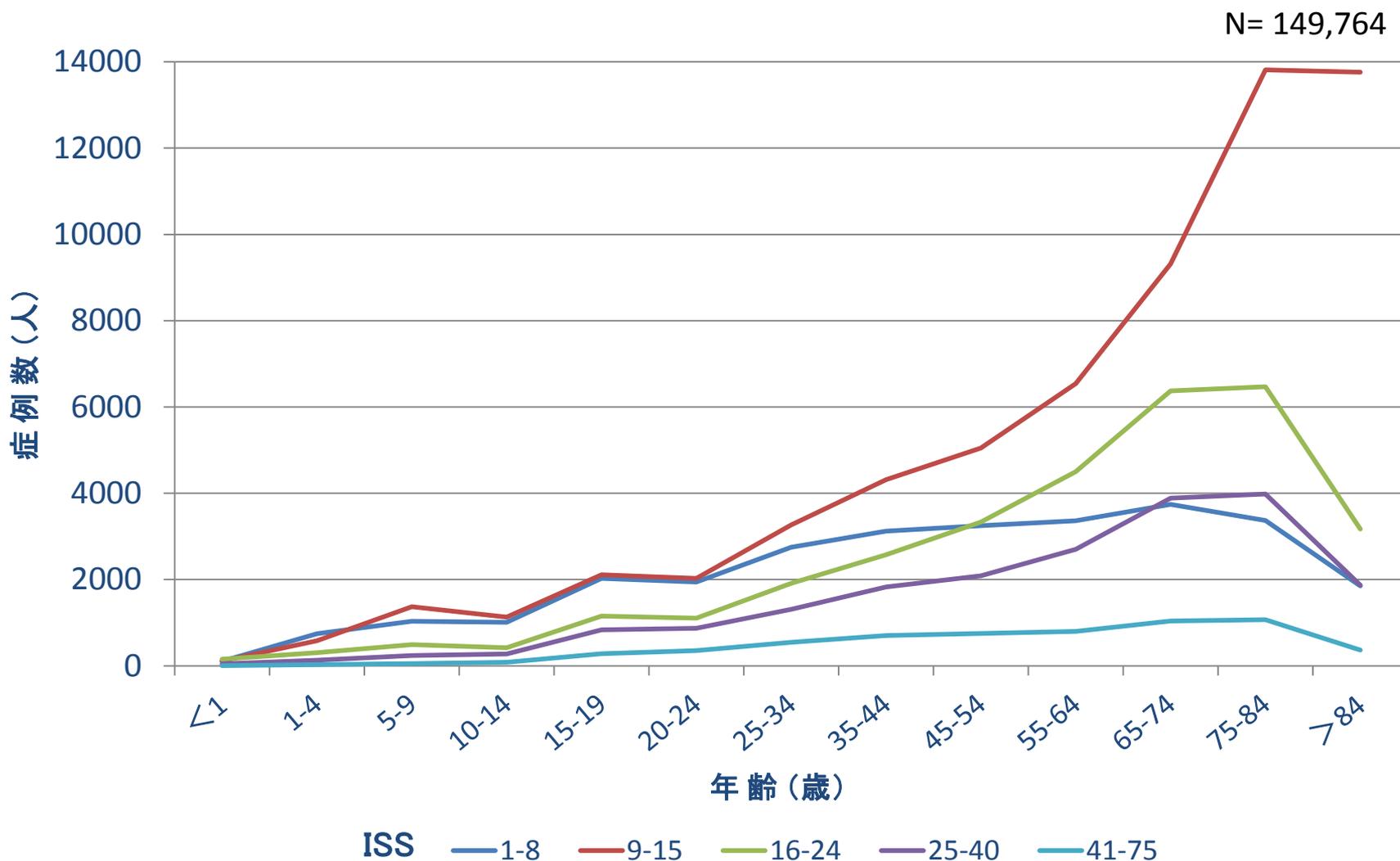


Table
15

ISSカテゴリ別の症例数の年齢分布

年齢 ISS	0	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-34	35-44	45-54	55-64	65-74	75-84	85-	不明	計
1-8	106	743	1031	1009	2026	1939	2750	3124	3250	3361	3740	3370	1853	29	28331
9-15	114	582	1372	1128	2112	2024	3268	4314	5047	6539	9320	13815	13758	64	63457
16-24	151	303	492	420	1151	1105	1909	2576	3333	4499	6376	6471	3172	27	31985
25-40	48	132	238	272	836	869	1308	1827	2085	2698	3888	3985	1869	27	20082
41-75	2	28	54	79	278	352	547	703	747	796	1036	1069	365	24	6080
不明	81	380	371	270	440	538	810	981	1037	1135	1618	1522	918	29	10130
計	502	2168	3558	3178	6843	6827	10592	13525	15499	19028	25978	30232	21935	200	160065

Figure
16A

ISSカテゴリー別の死亡数と割合

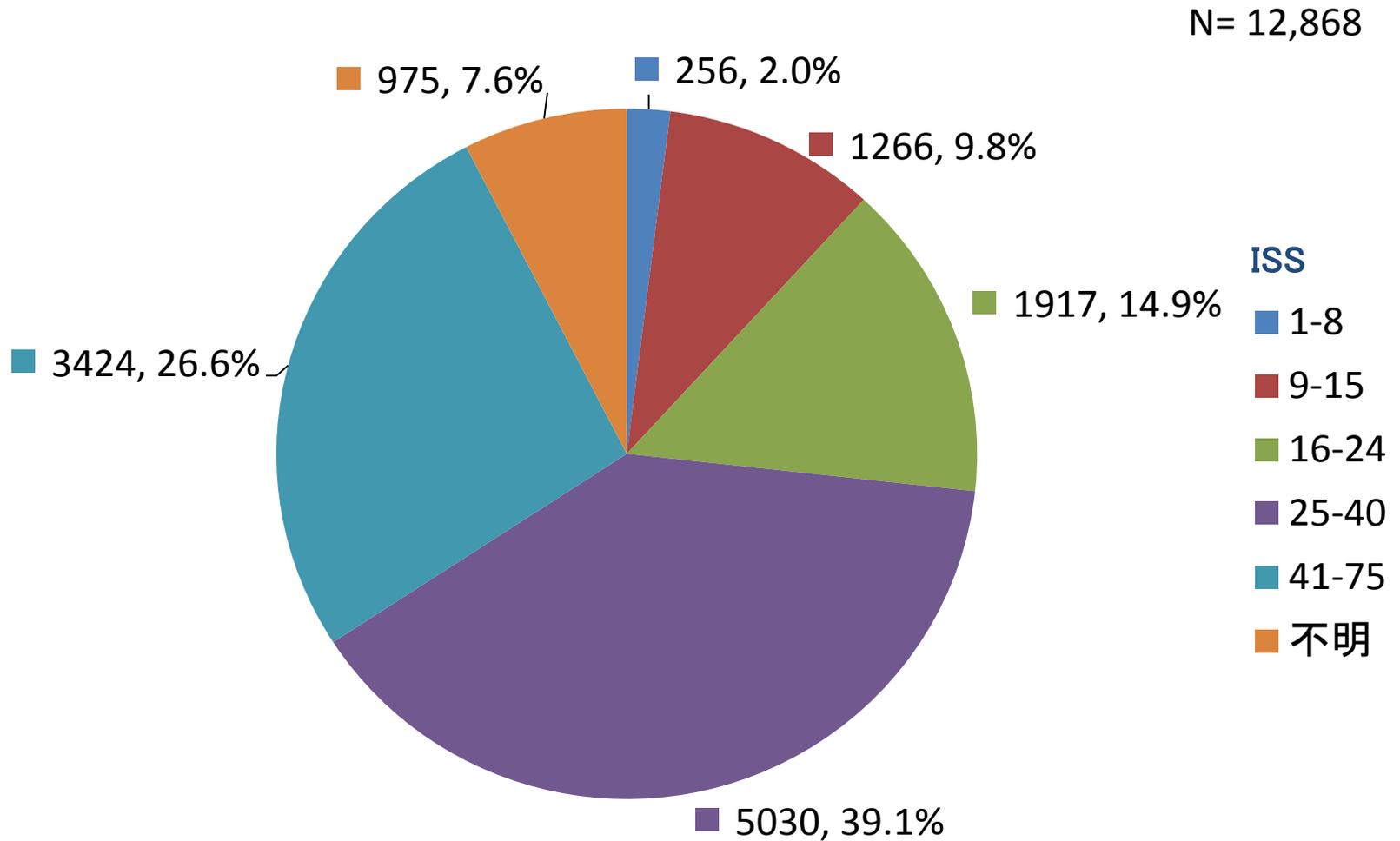


Figure
16B

ISSカテゴリー別の死亡率

N= 12,868

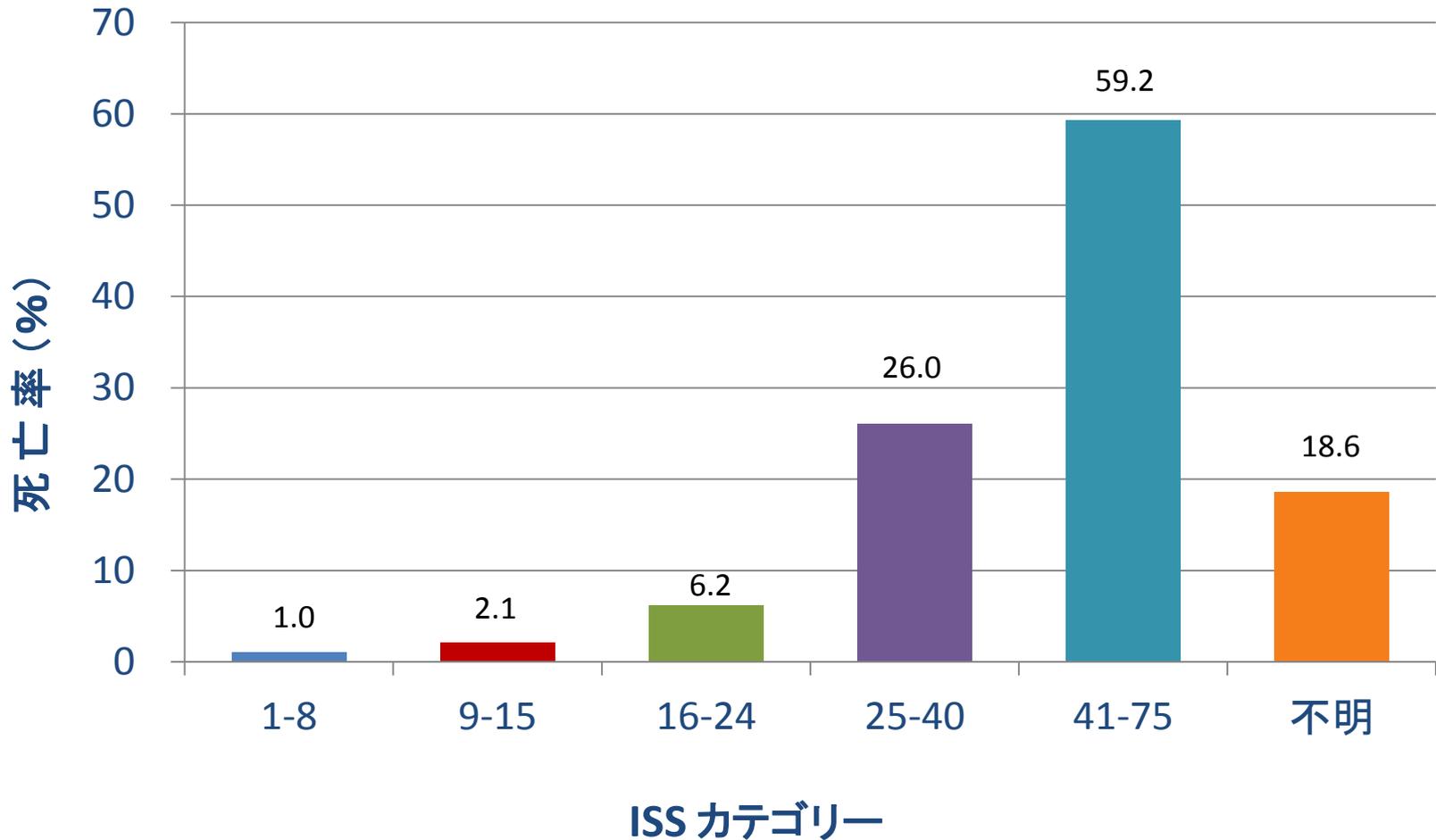


Figure
17

ISSカテゴリー別死亡数の年齢分布

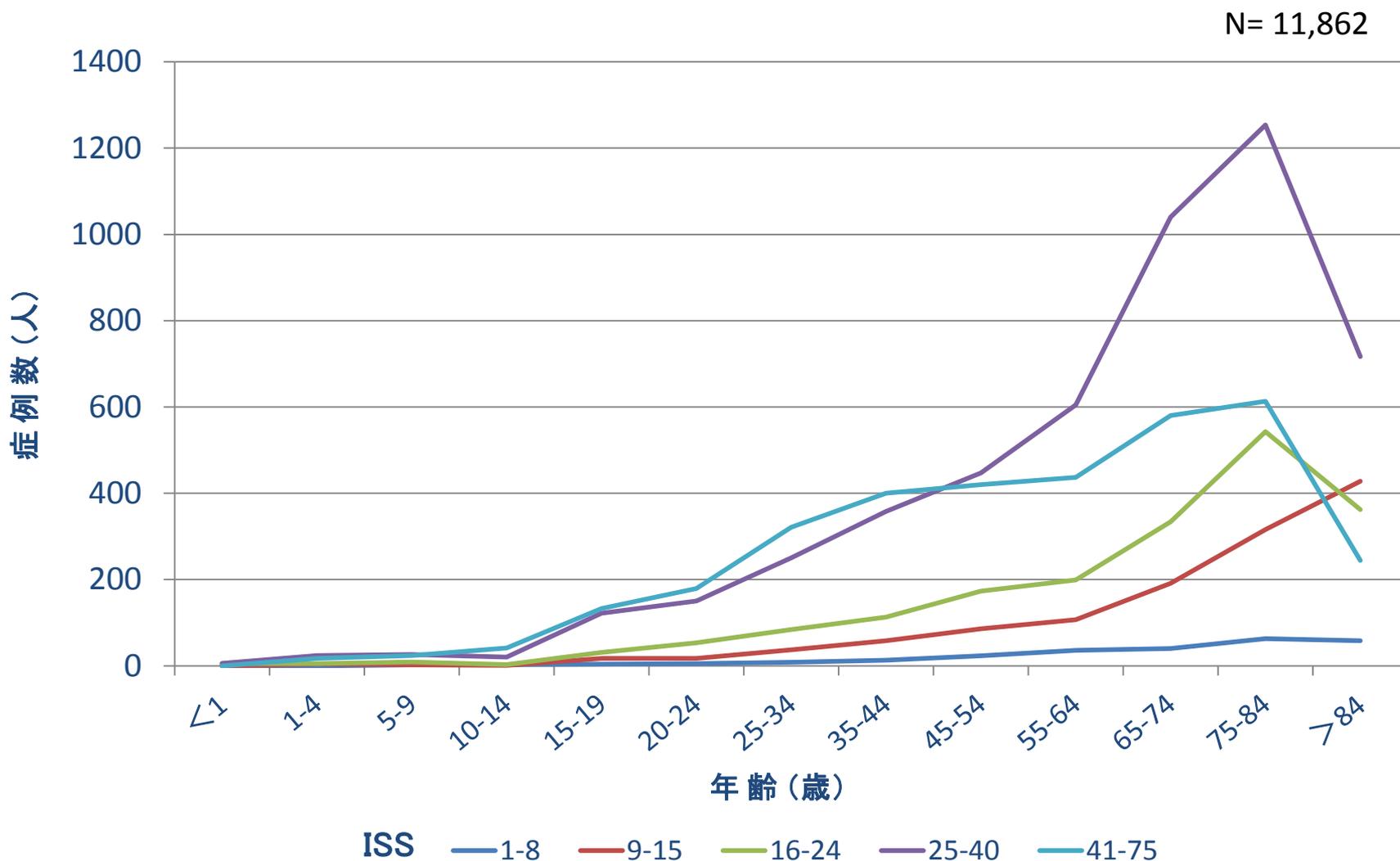


Table
17

ISSカテゴリー別死亡数の年齢分布

年齢 ISS	0	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-34	35-44	45-54	55-64	65-74	75-84	85-	不明	計
1-8	1	0	2	3	4	5	8	13	23	36	40	63	58	0	256
9-15	0	4	2	1	17	17	37	58	86	107	191	316	428	2	1266
16-24	5	5	9	3	31	53	84	113	173	199	334	543	362	3	1917
25-40	6	24	26	20	122	150	250	358	447	605	1040	1254	717	11	5030
41-75	0	17	24	41	133	179	321	400	420	437	580	613	244	15	3424
不明	3	2	0	5	32	59	83	106	138	128	178	154	76	11	975
計	15	52	63	73	339	463	783	1048	1287	1512	2363	2943	1885	42	12868

Figure
18

ISS 15以下の死亡数の性別年齢分布

N=91580

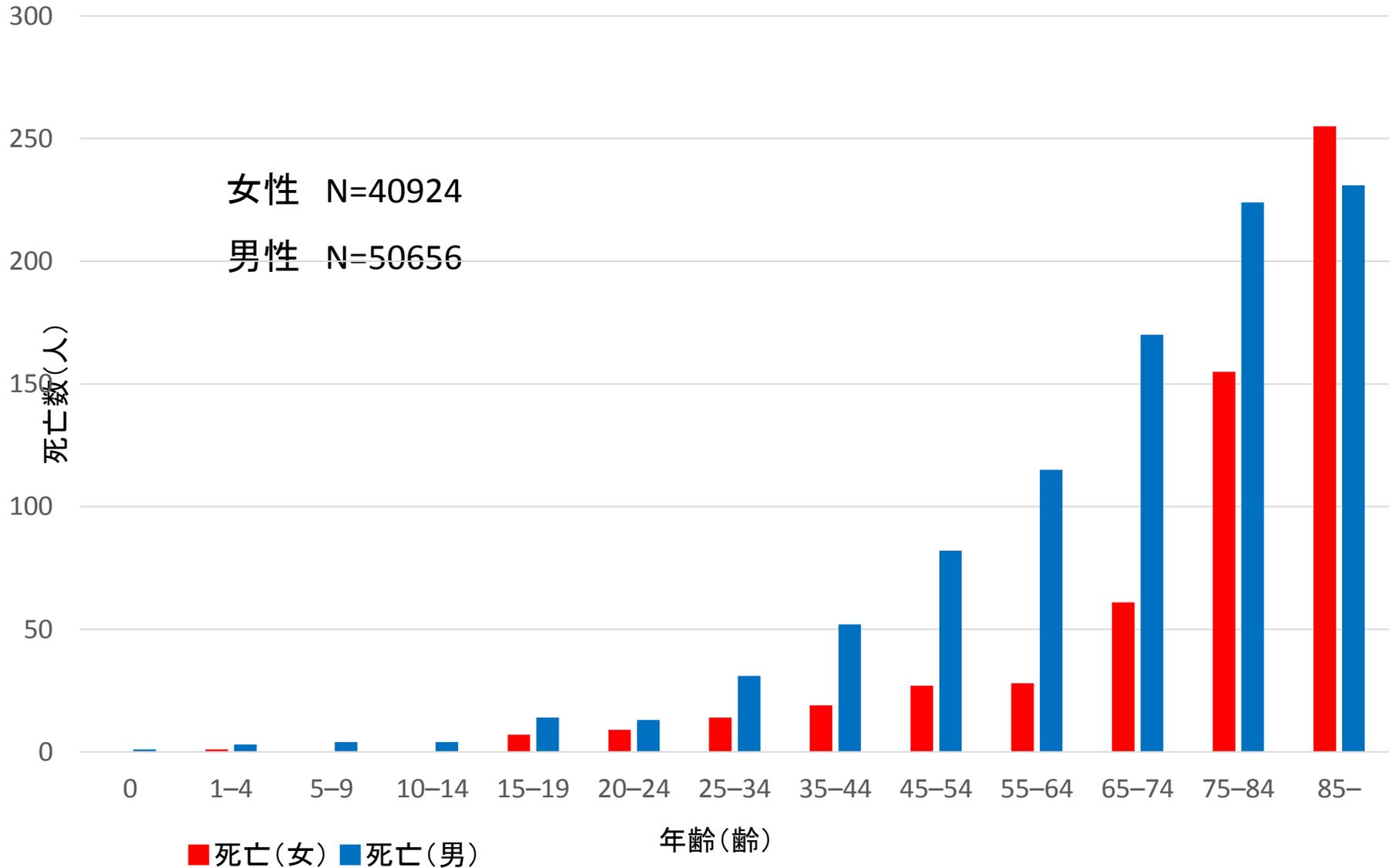


Figure
19

ISS 16以上の死亡数の性別年齢分布

N=55877

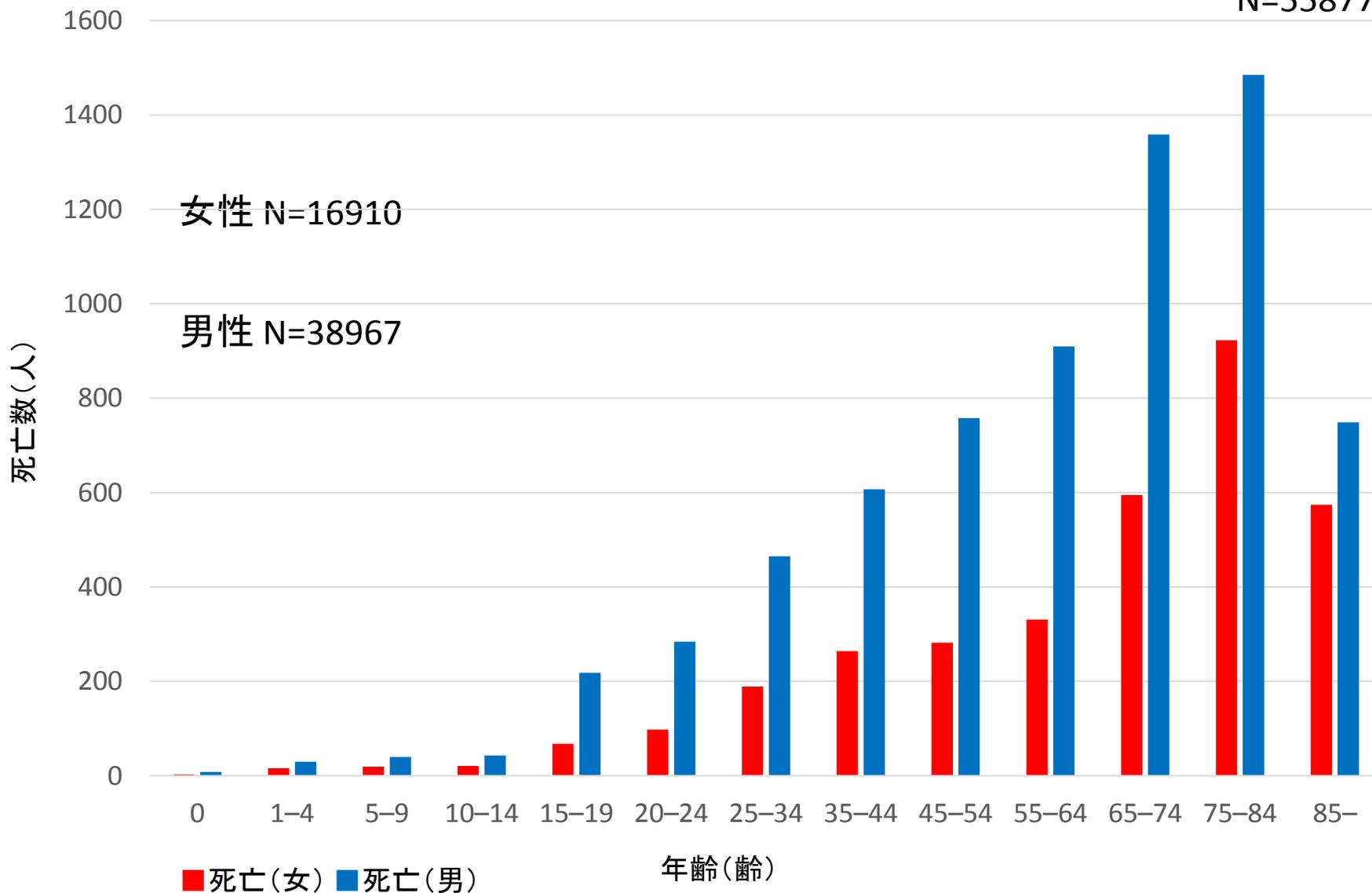


Figure
20A

ISS カテゴリ別の累積入院日数

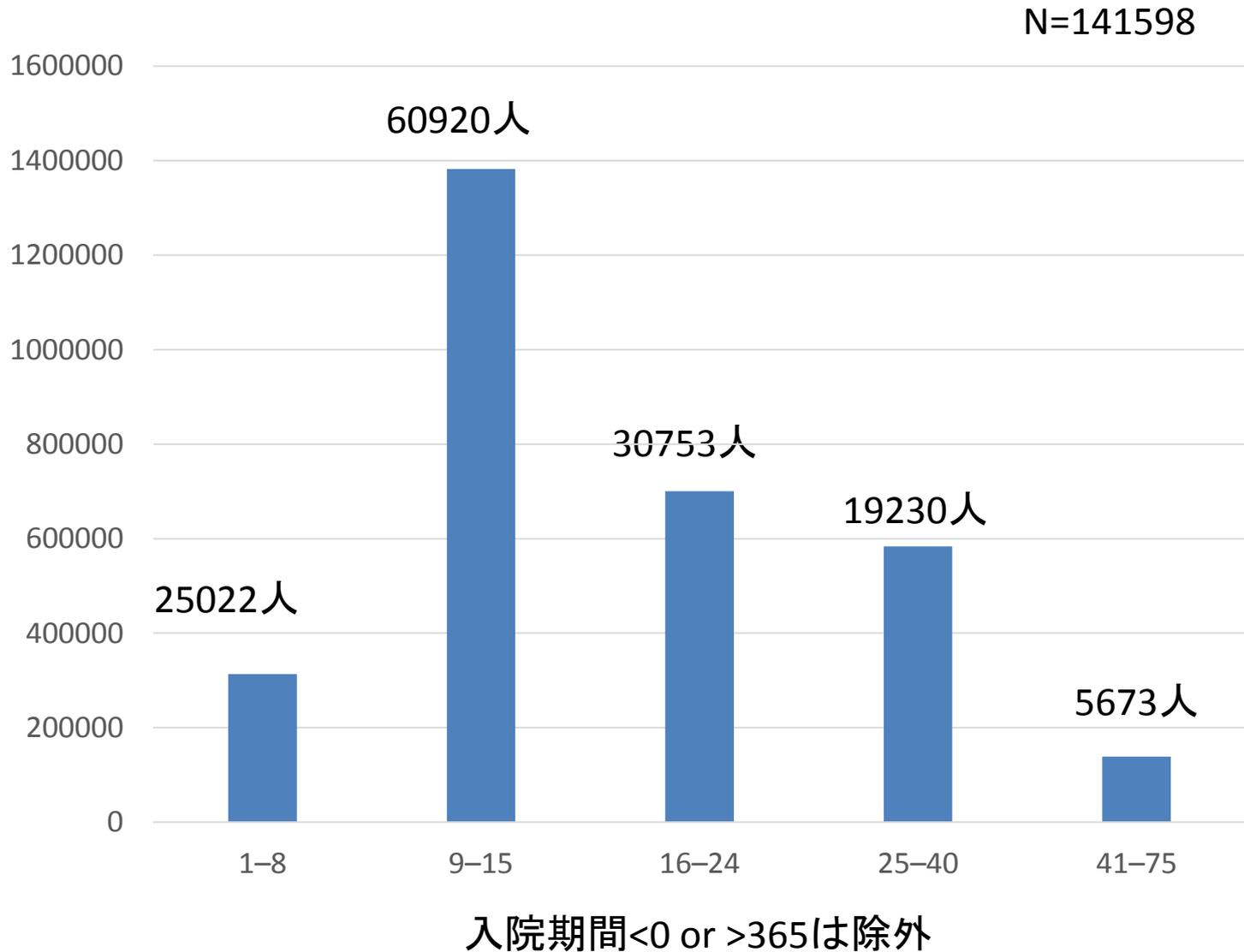


Figure
20B

ISS カテゴリ別の平均入院日数

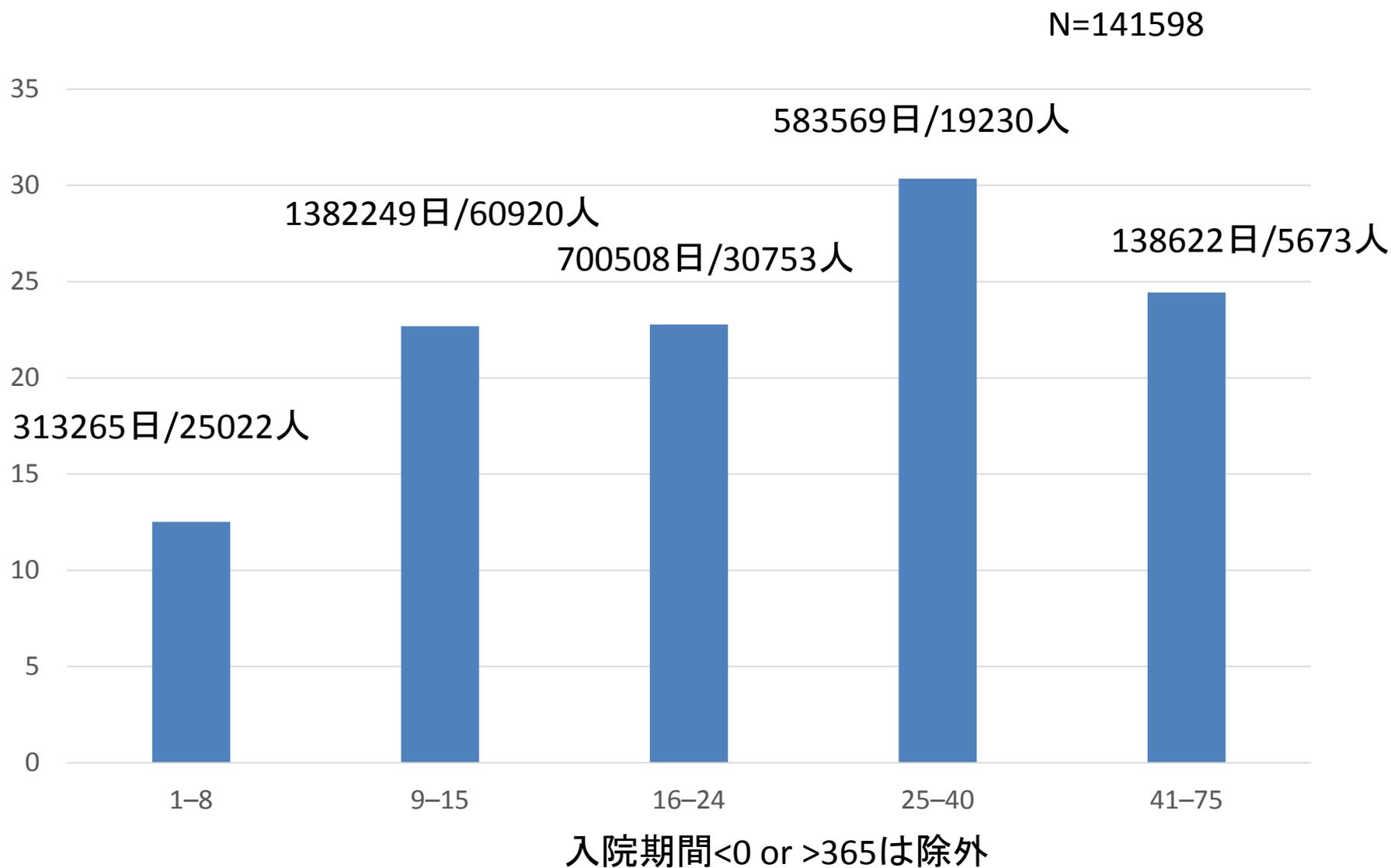


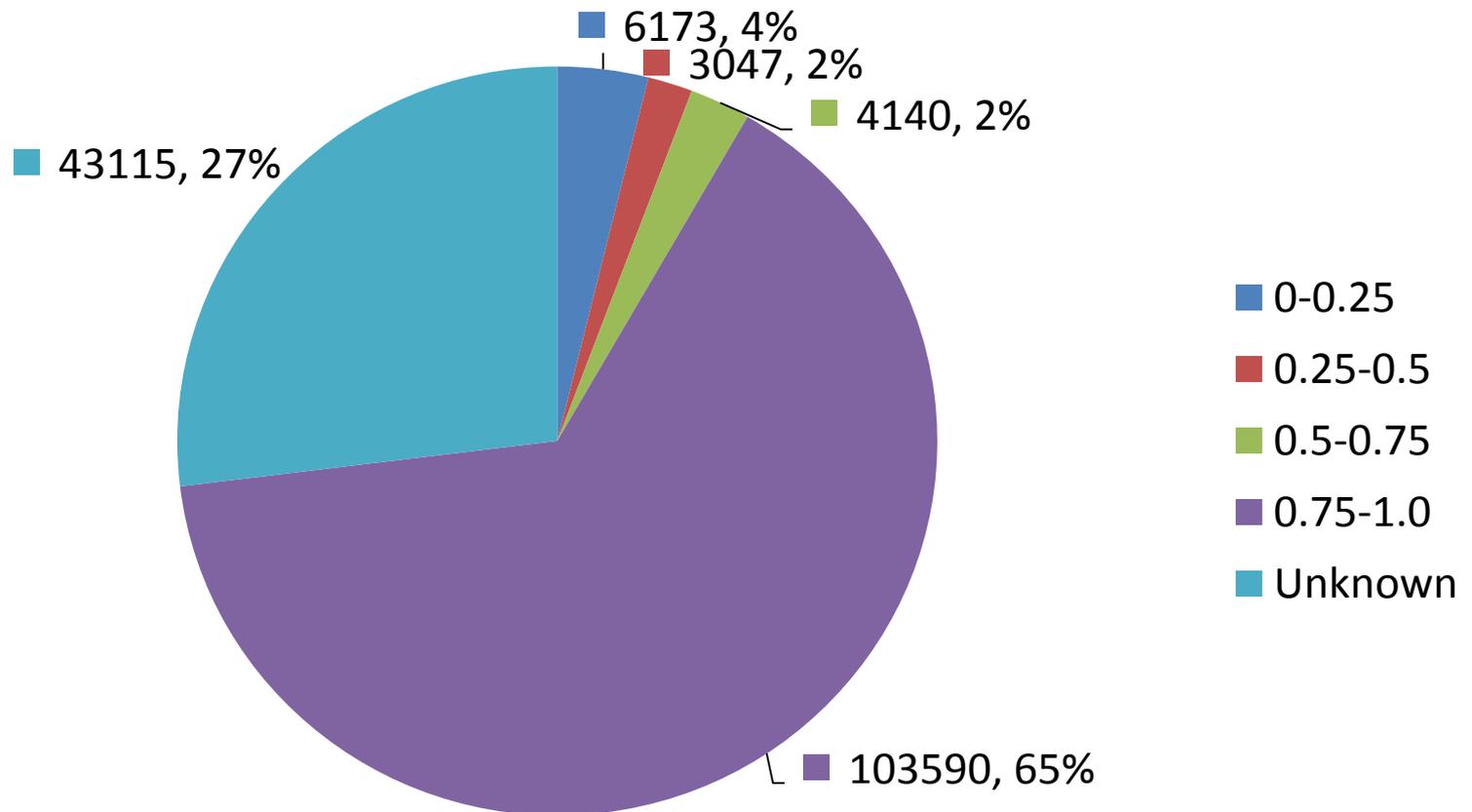
Figure
21**Probability of survival (Ps) カテゴリー別の症例数の割合**

Figure
22A

Probability of survival (Ps)カテゴリー別の死亡数の割合

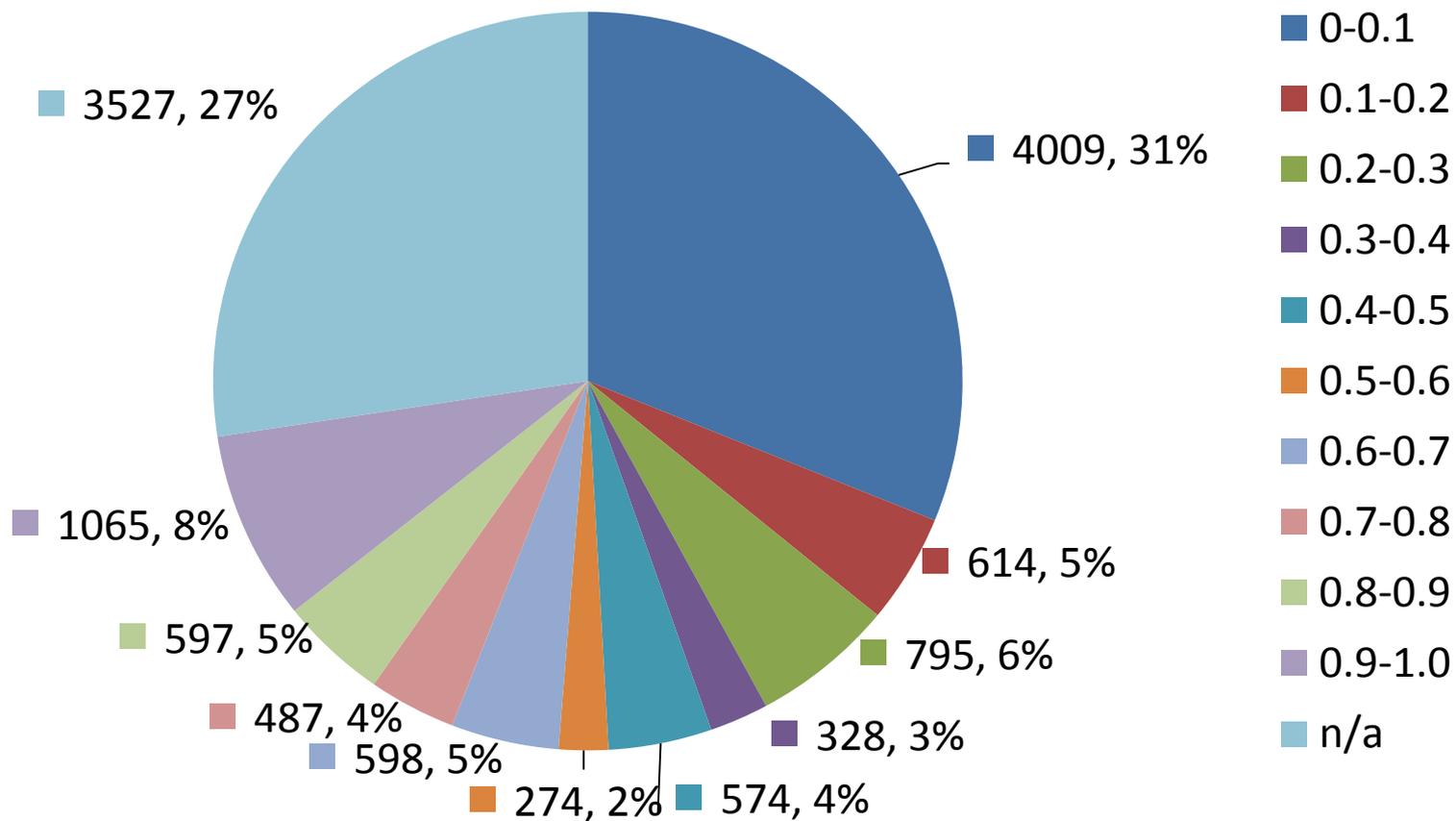


Figure
22B

各Probability of survival (Ps) カテゴリーの死亡率

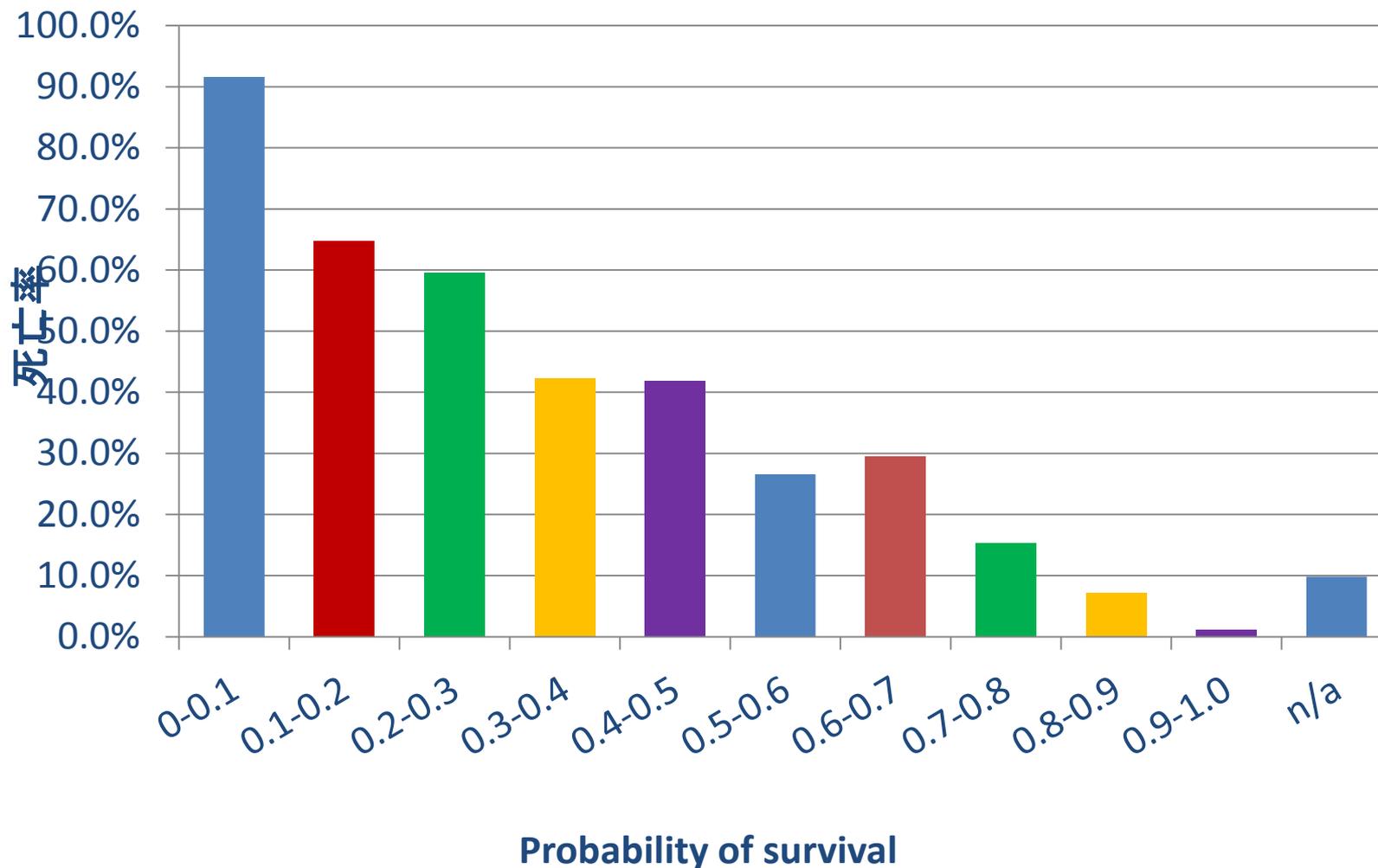


Figure
23

交通事故患者における種類別および年齢別の患者数

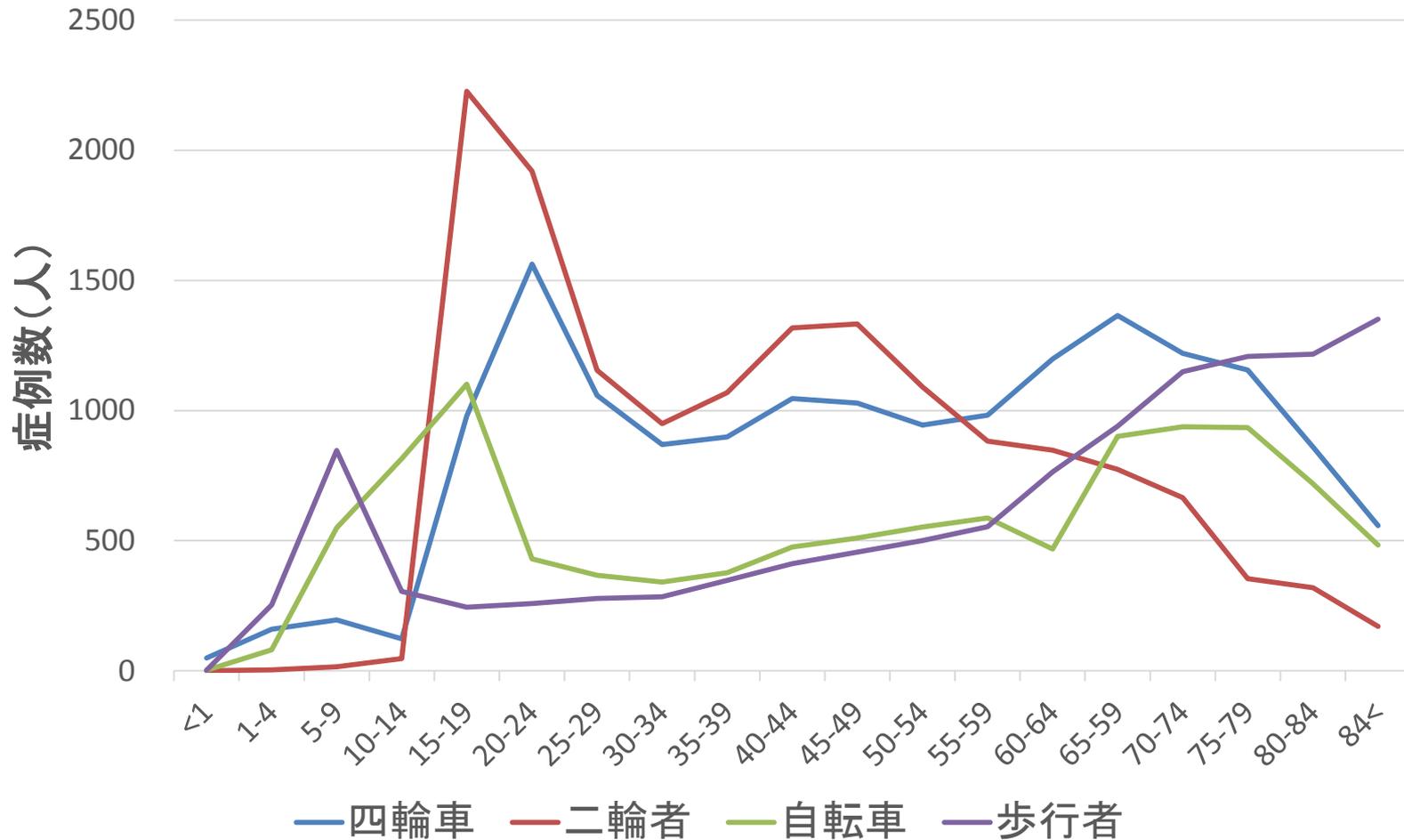


Figure
24

四輪車事故症例数の運転者・乗客別年齢分布

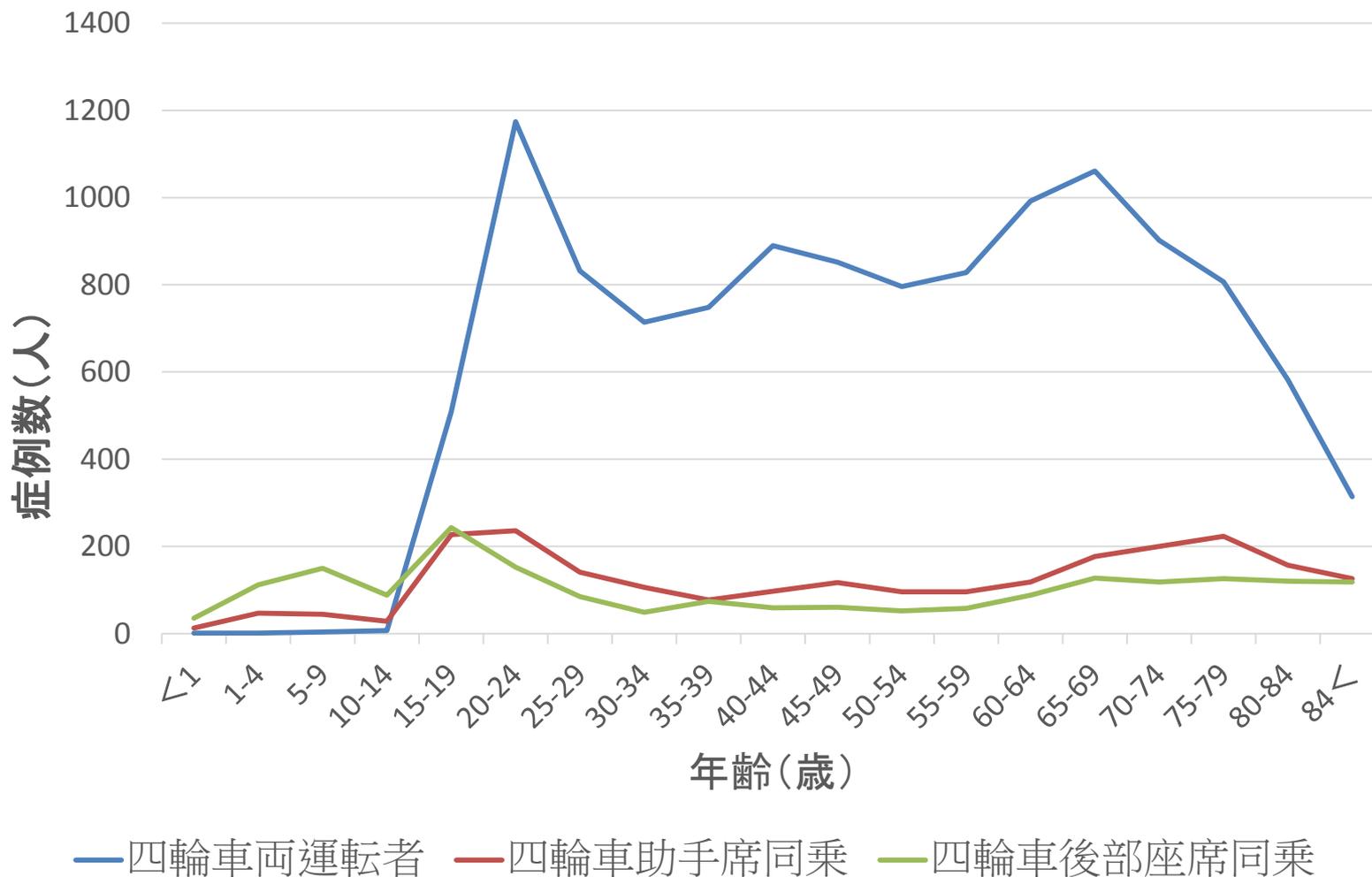


Figure
25

四輪者事故(運転者)症例数の性別年齢分布

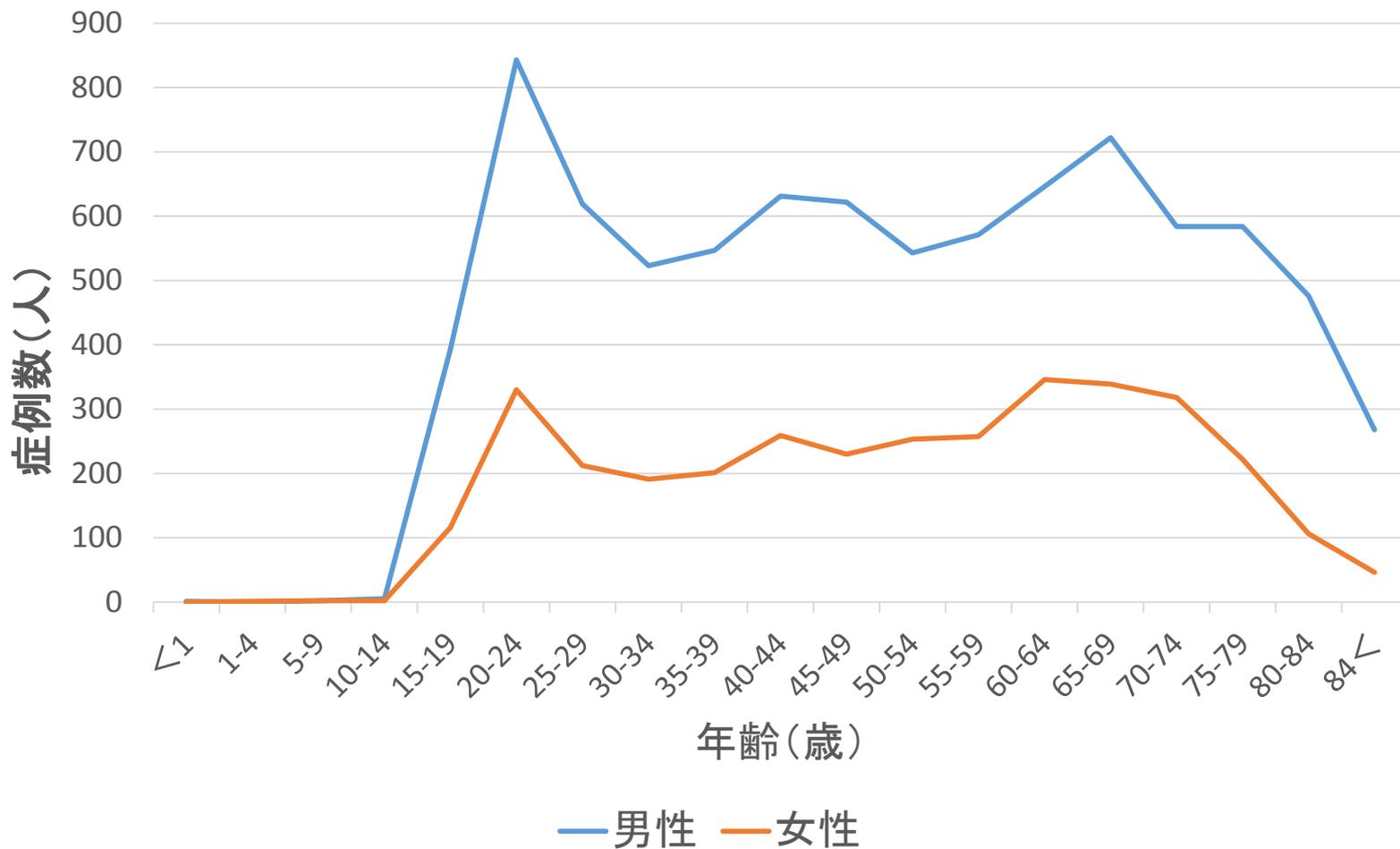


Figure
26

四輪者事故(助手席)症例数の性別年齢分布

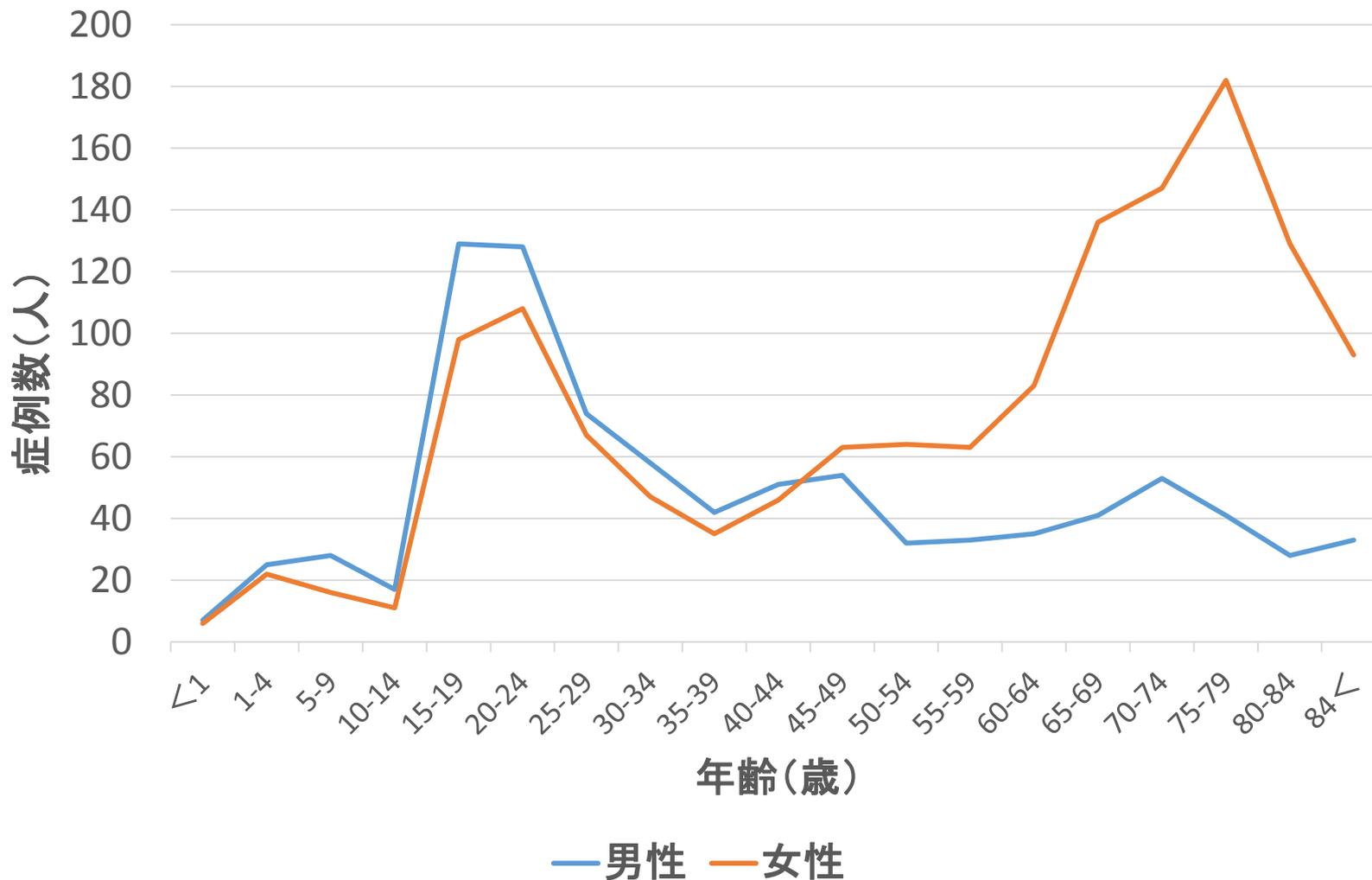


Figure
27

四輪車における運転手の年齢別死亡者数および死亡率

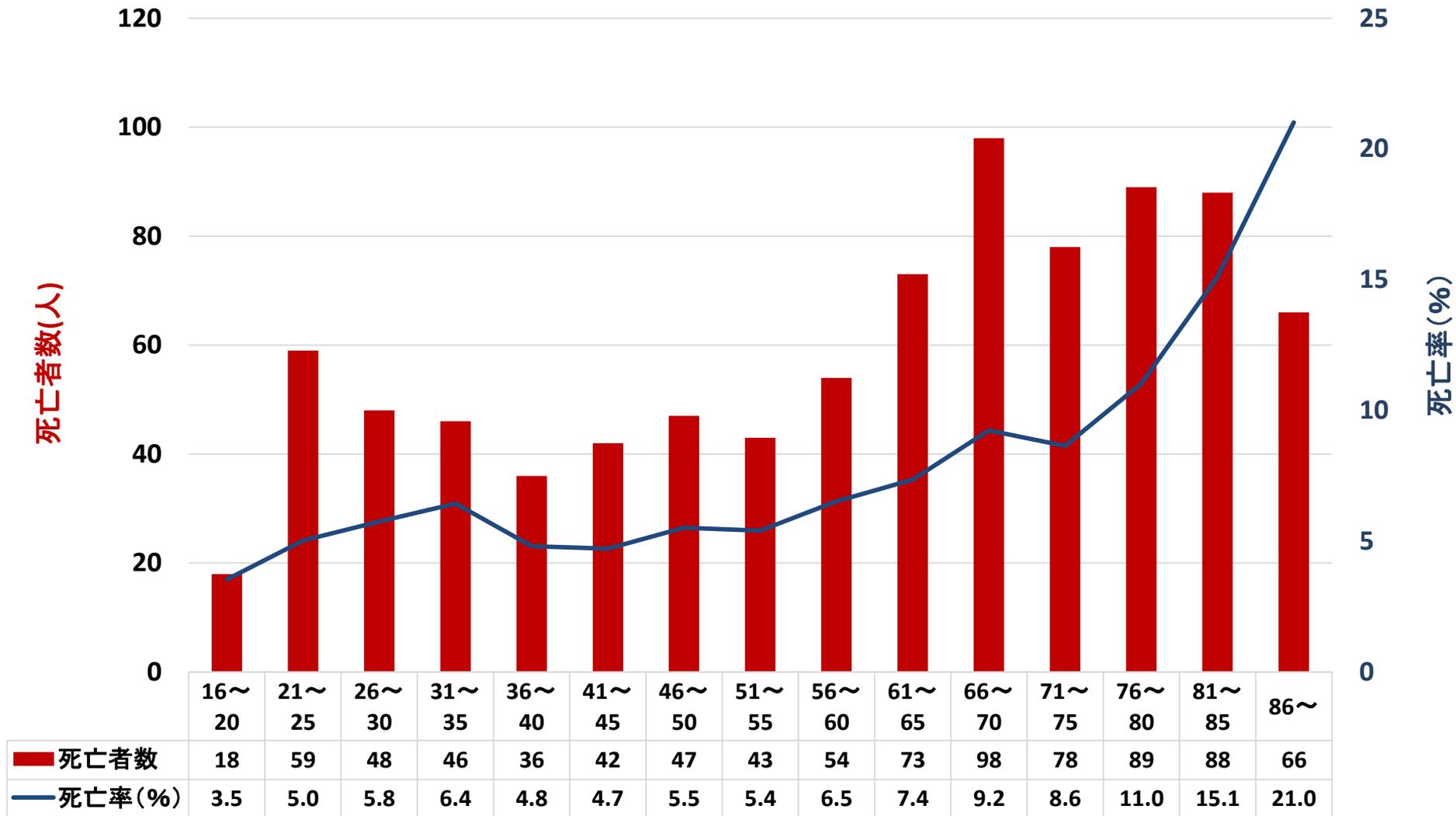


Figure
28

性別および年齢別運転死亡者数

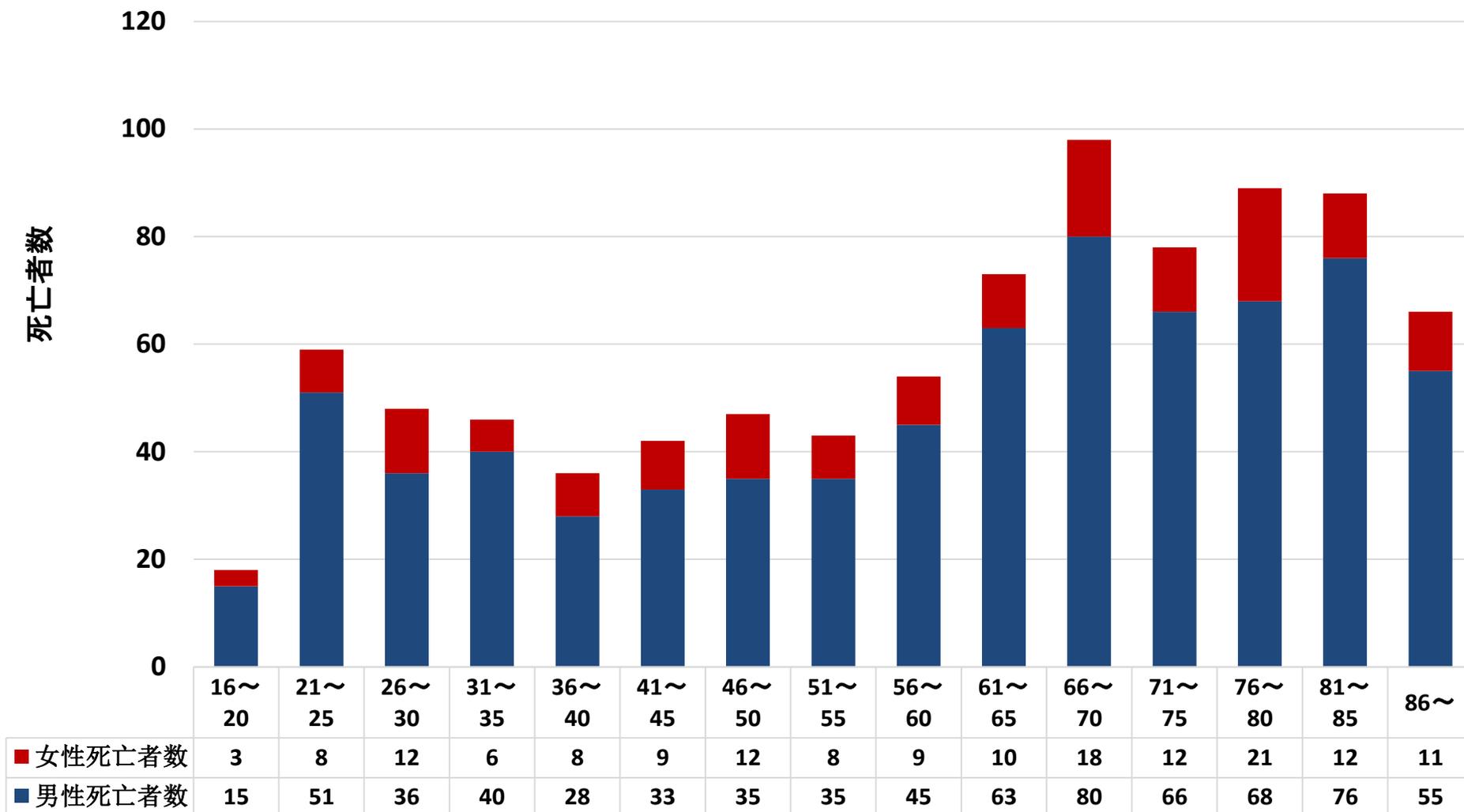


Figure
29

外傷原因別の登録患者比率

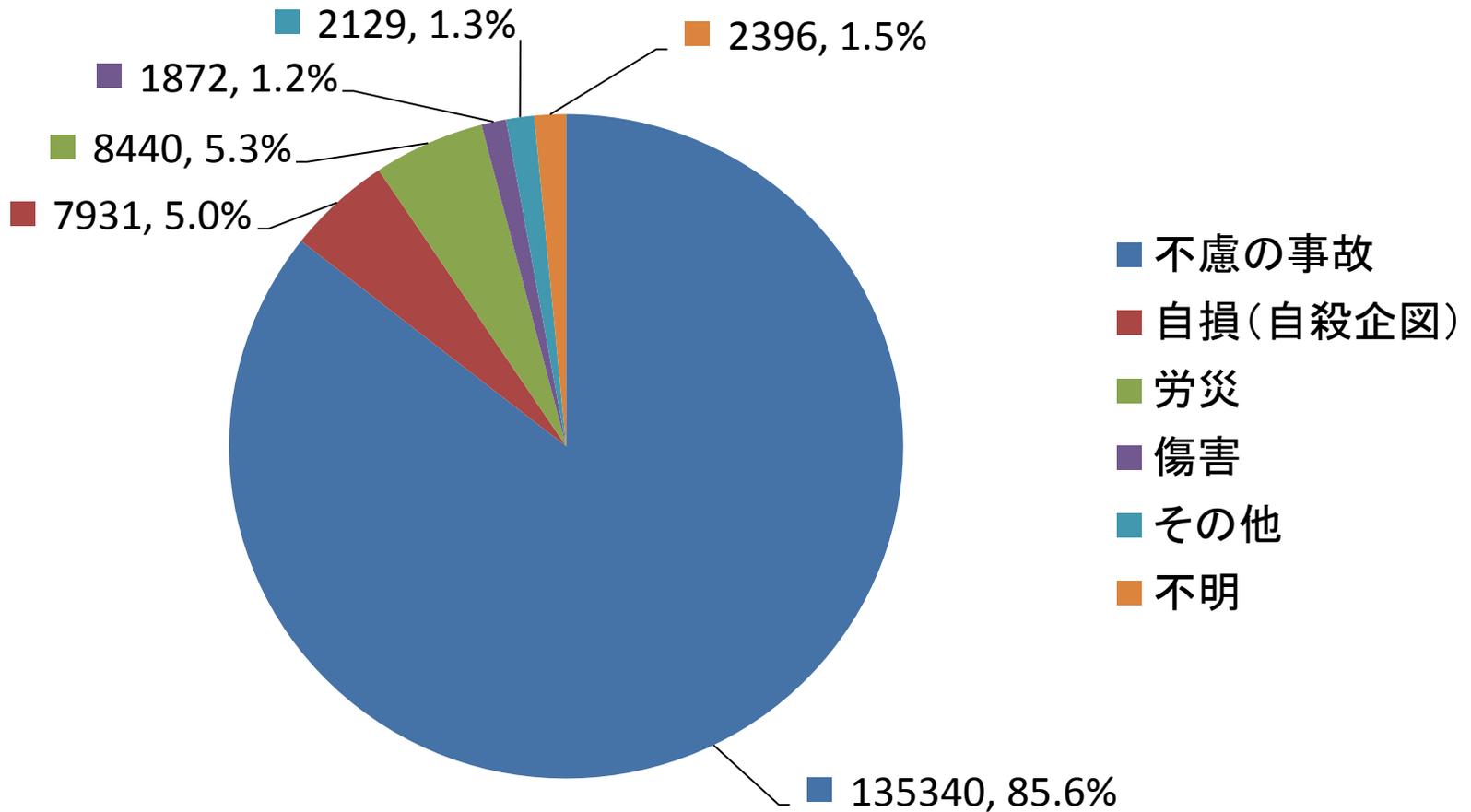


Figure
30

外傷原因別の死亡者比率

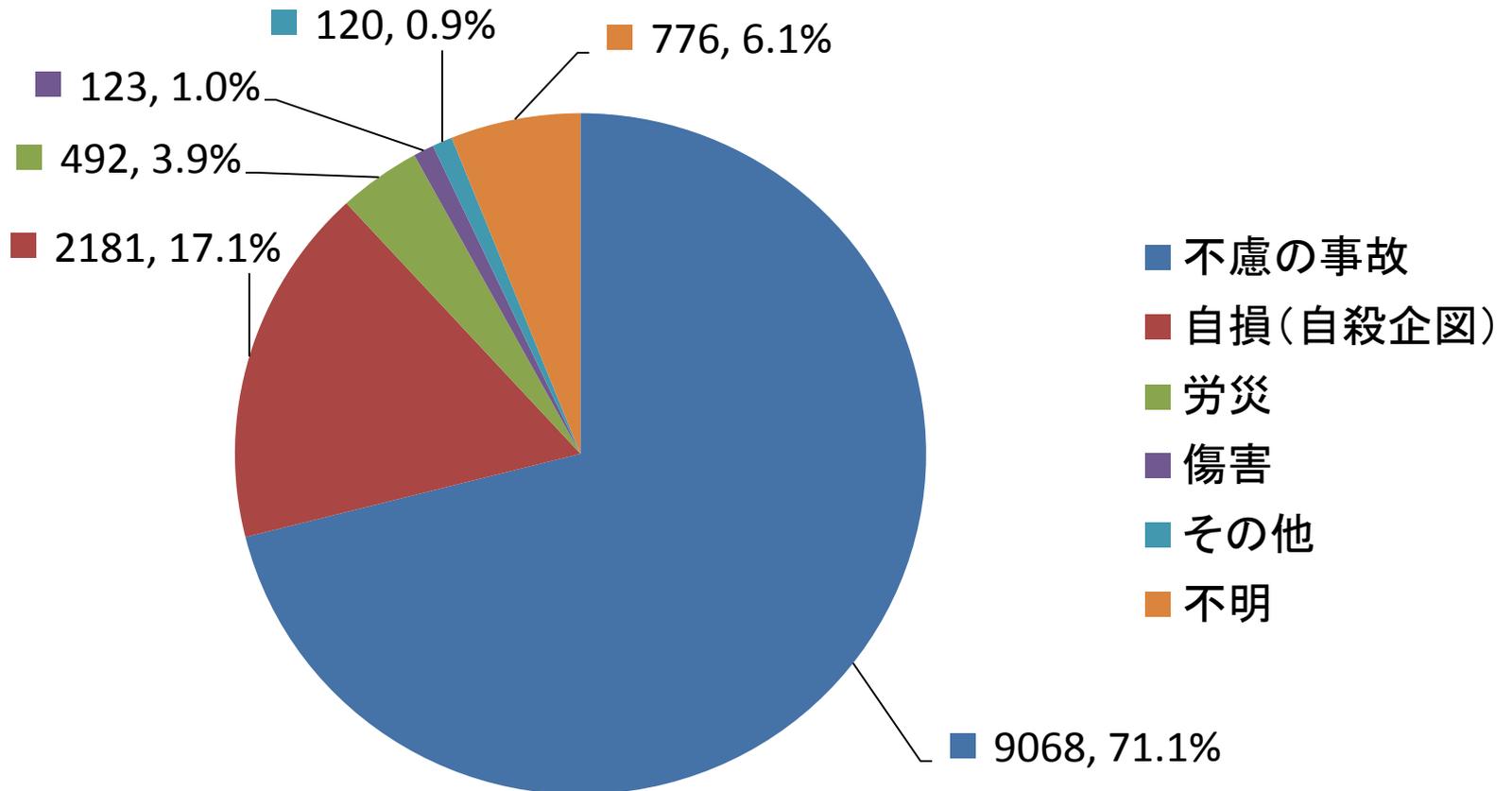


Figure
31

不慮の事故および労災による外傷患者の性別比率

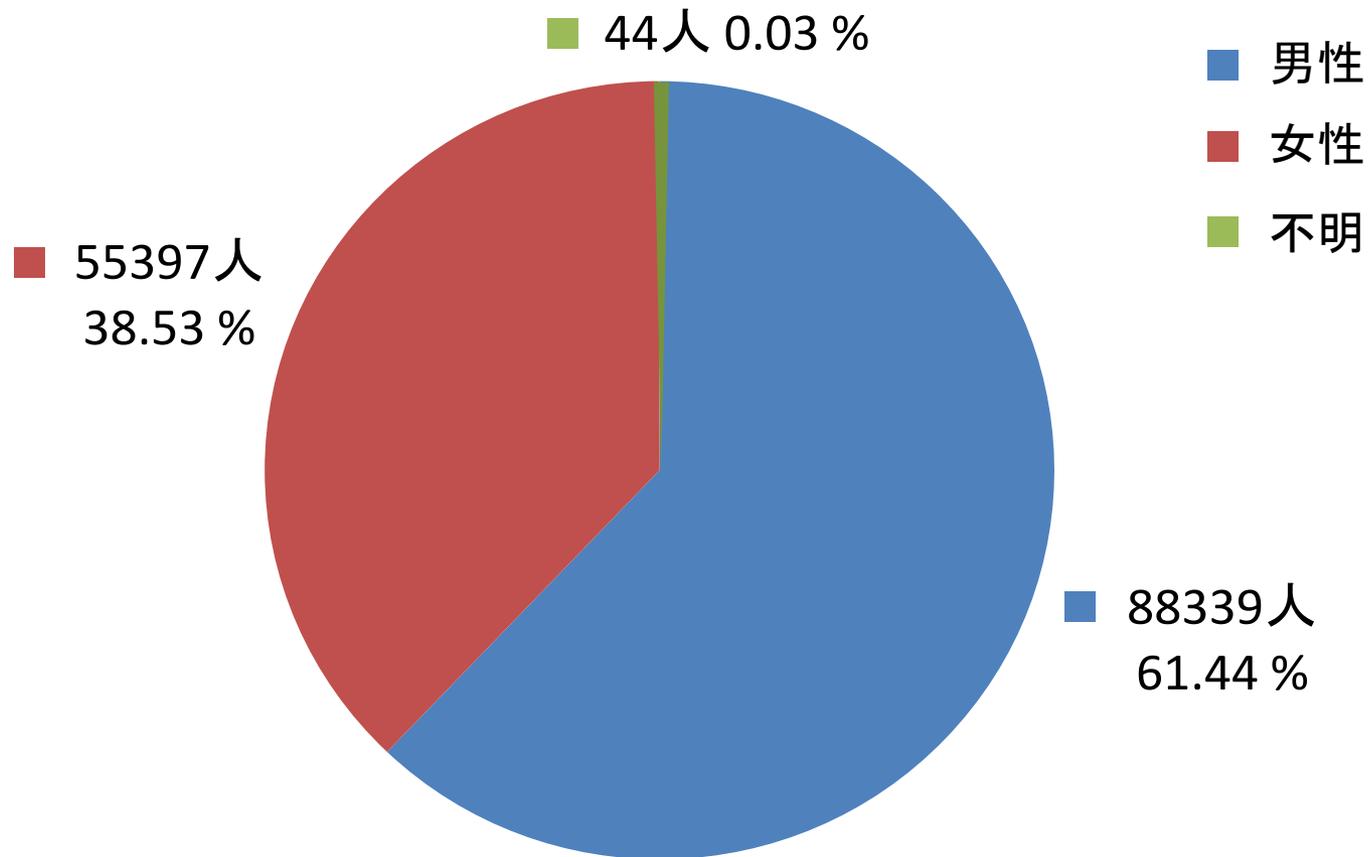


Figure
32

不慮の事故および労災による外傷患者の性別年齢分布

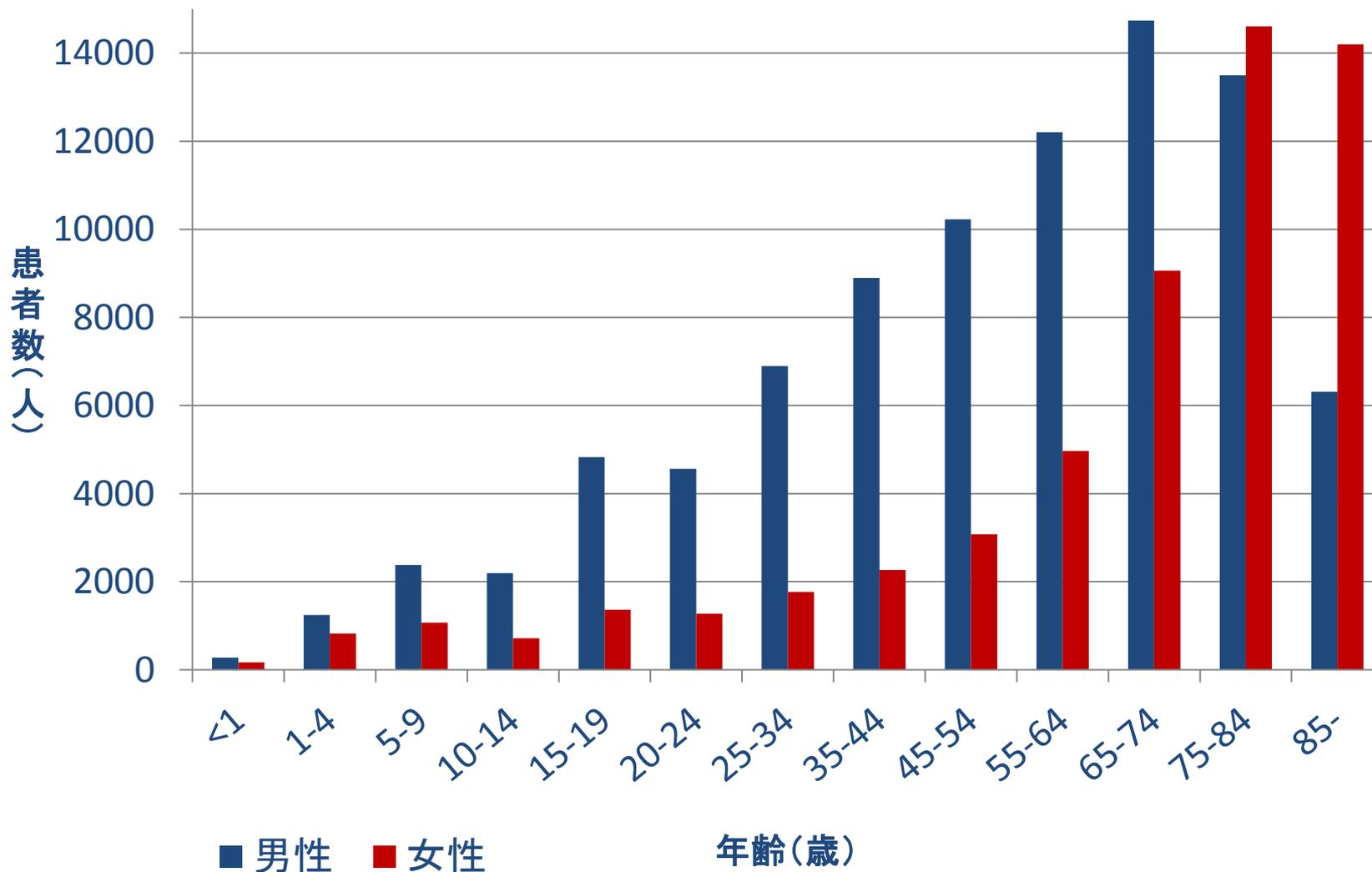


Table
32

不慮の事故および労災による外傷患者の性別年齢分布

年齢	男性	女性	計
< 1	275	167	442
1- 4	1244	825	2069
5- 9	2380	1071	3451
10-14	2194	716	2910
15-19	4827	1366	6193
20-24	4563	1274	5837
25-34	6894	1769	8663
35-44	8896	2263	11159
45-54	10228	3078	13306
55-64	12206	4964	17170
65-74	14741	9058	23799
75-84	13449	14610	28109
85-	6311	14198	20509
不明	81	38	119
計	88339	55397	143736

Figure
33

傷害による外傷患者の性別年齢分布

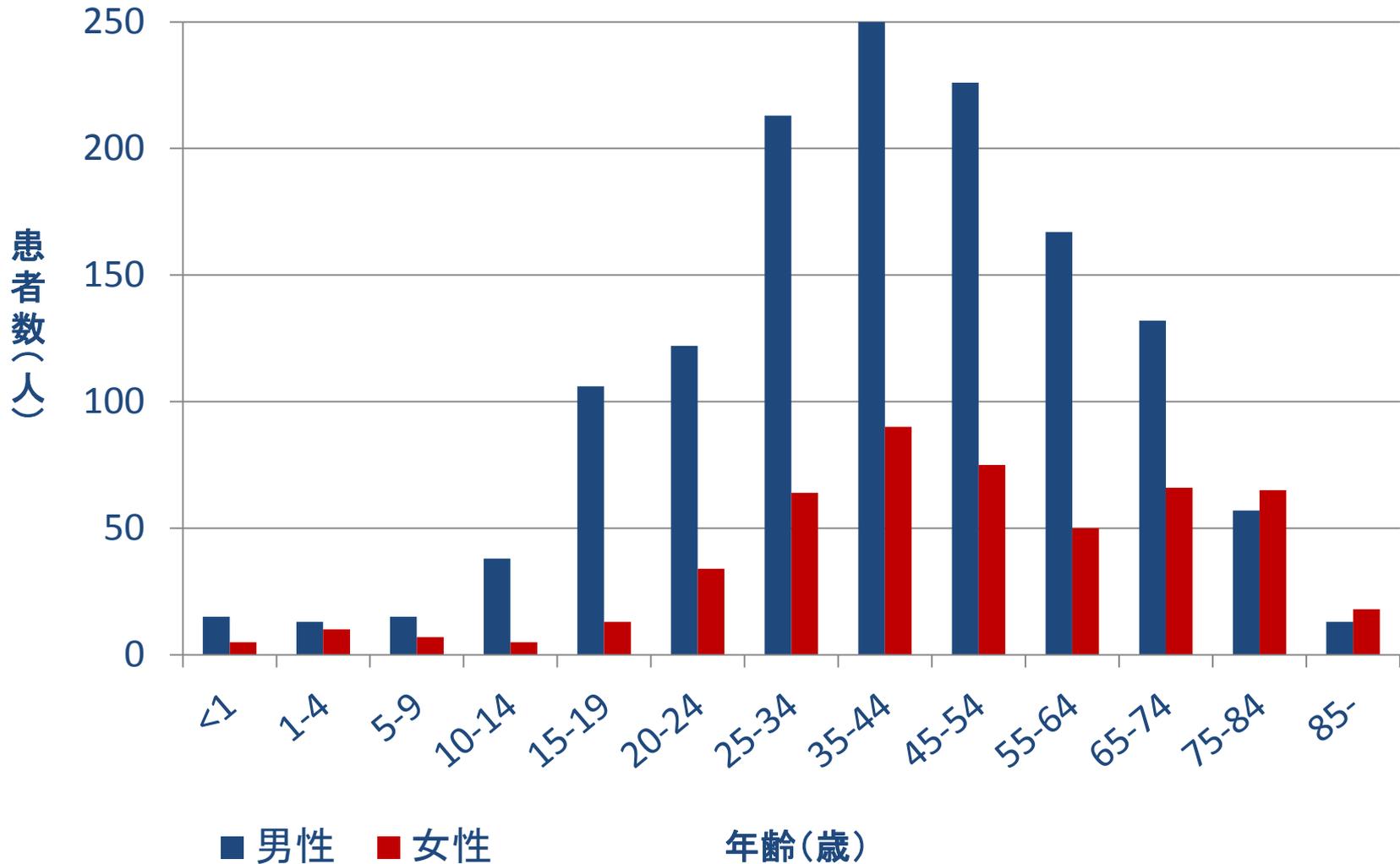


Table
33

傷害による外傷患者の性別年齢分布

年齢	男性	女性	計
< 1	15	5	20
1- 4	13	10	23
5- 9	15	7	22
10-14	38	5	43
15-19	106	13	119
20-24	122	34	156
25-34	213	64	277
35-44	250	90	340
45-54	226	75	301
55-64	167	50	217
65-74	132	66	198
75-84	57	65	122
85-	13	18	31
不明	8	0	3
計	1370	502	1872

Figure
34

自傷による外傷患者の性別年齢分布

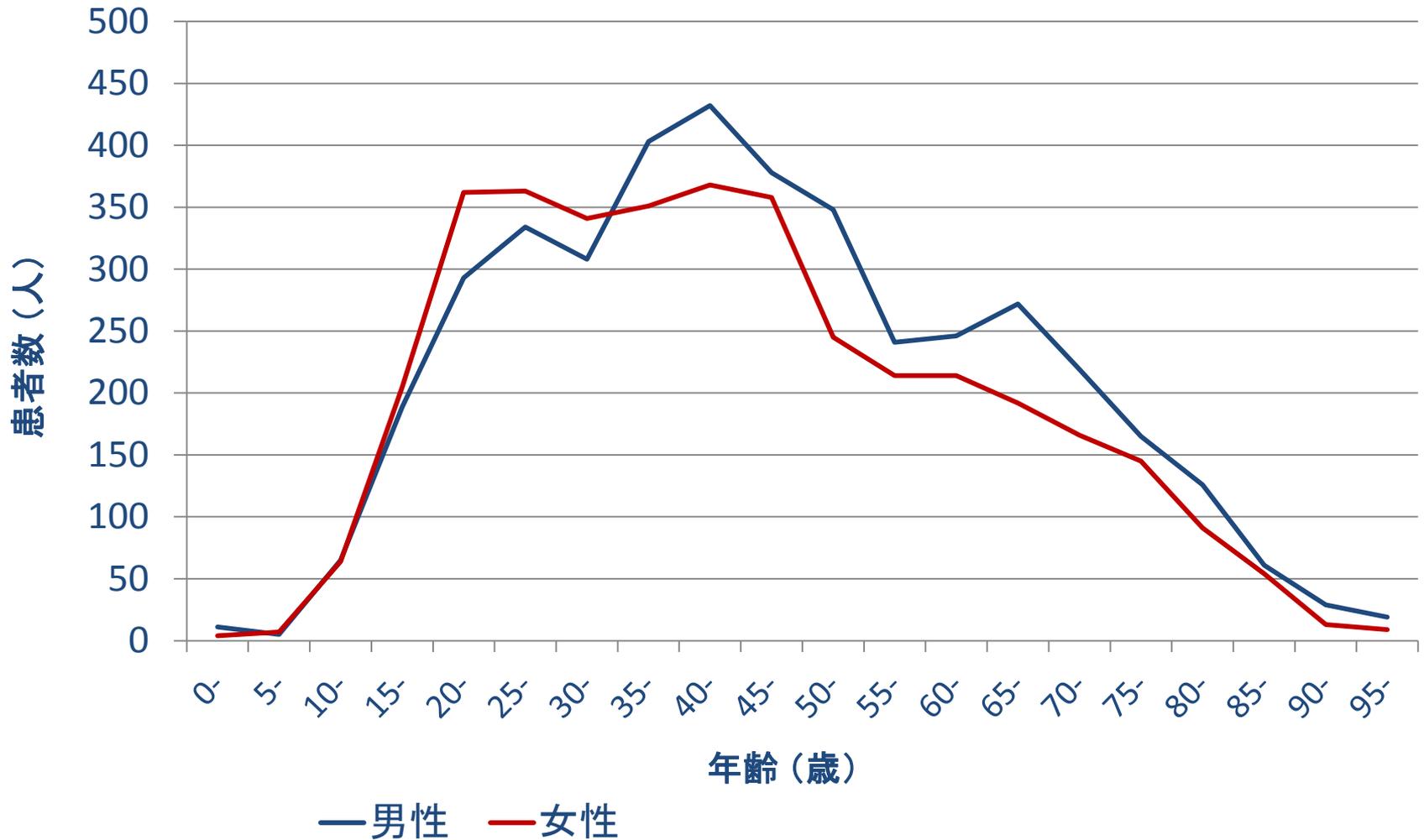


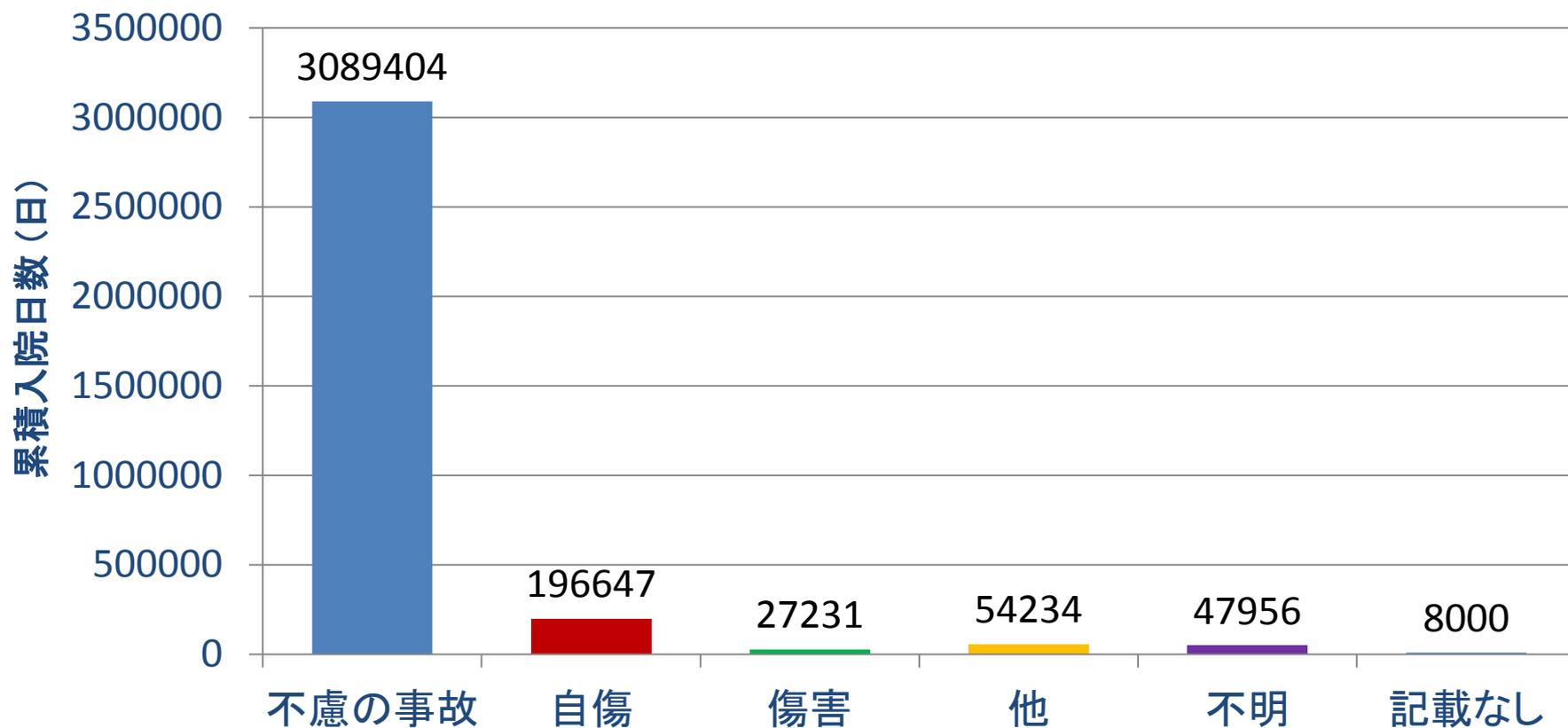
Table
34

自傷による外傷患者の性別年齢分布

Age Sex	0-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70-74	75-79	80-84	85-89	90-94	95-	Unkn wn	Total
Female	4	7	64	205	362	363	341	351	368	358	245	214	214	192	166	145	91	54	13	9	6	3772
Male	11	5	65	189	293	334	308	403	432	378	348	241	246	272	219	165	126	61	29	19	14	4158
Total	15	12	129	394	655	697	649	754	800	736	593	455	460	464	385	310	217	115	42	28	20	7930

Figure
35A

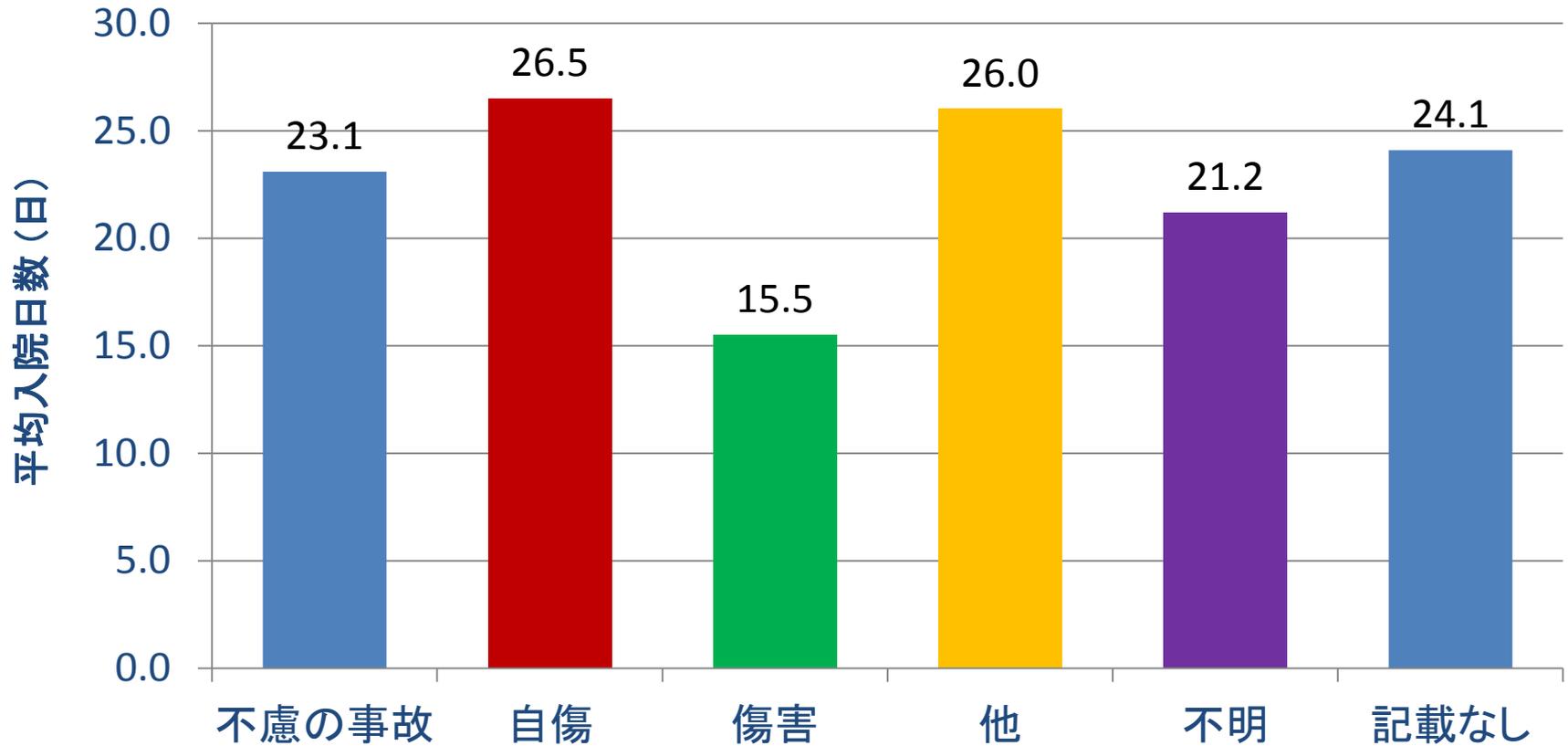
外傷原因別の累積入院日数



「記載なし」とは、外傷原因の記載がないものを指す。
不慮の事故には、労災も含まれる。

Figure
35B

外傷原因別の平均入院日数



不慮の事故には、労災も含まれる。

Figure
36

各部位損傷症例数

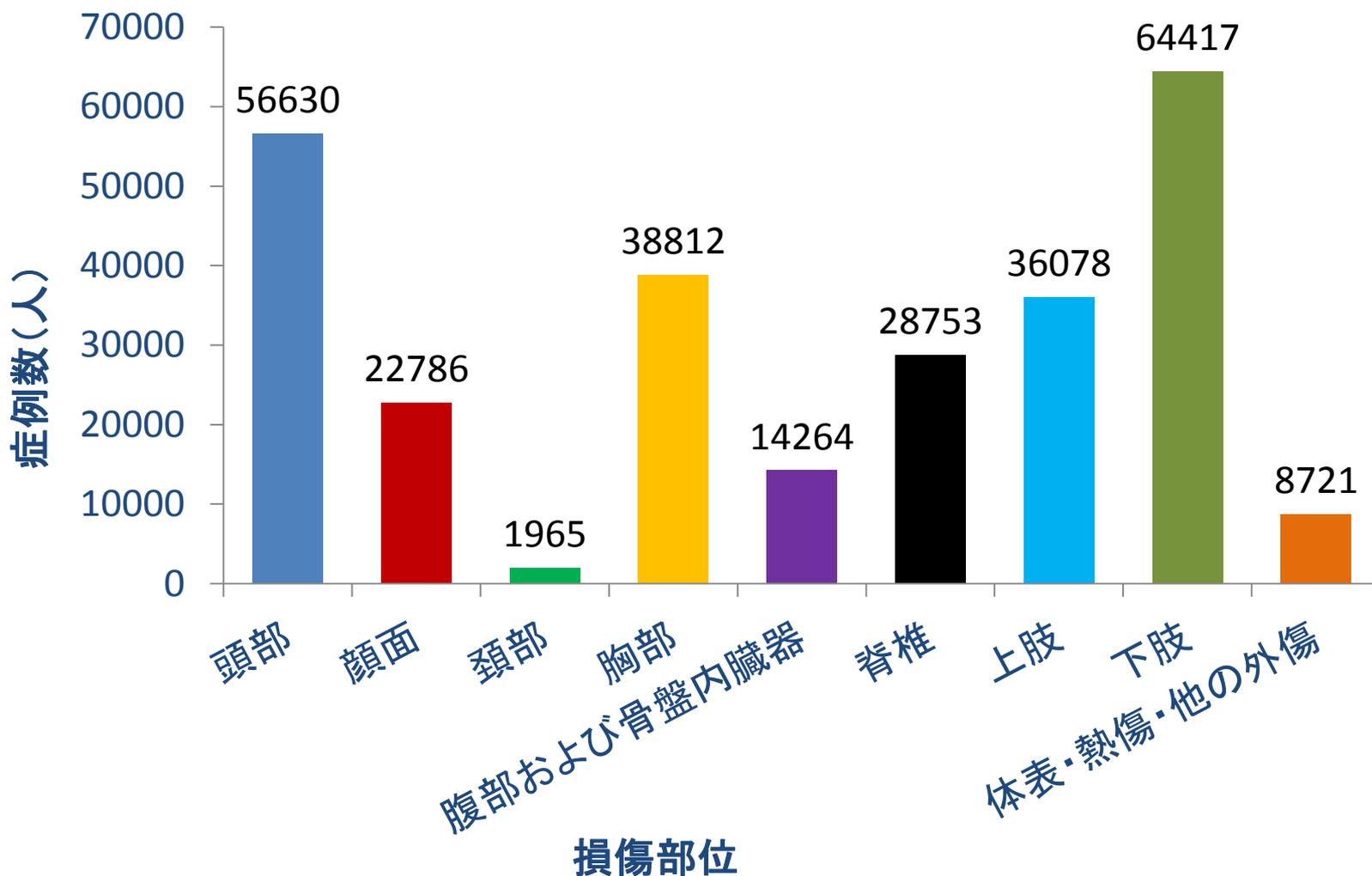


Figure
37A

頭部損傷とmaxAIS重症度

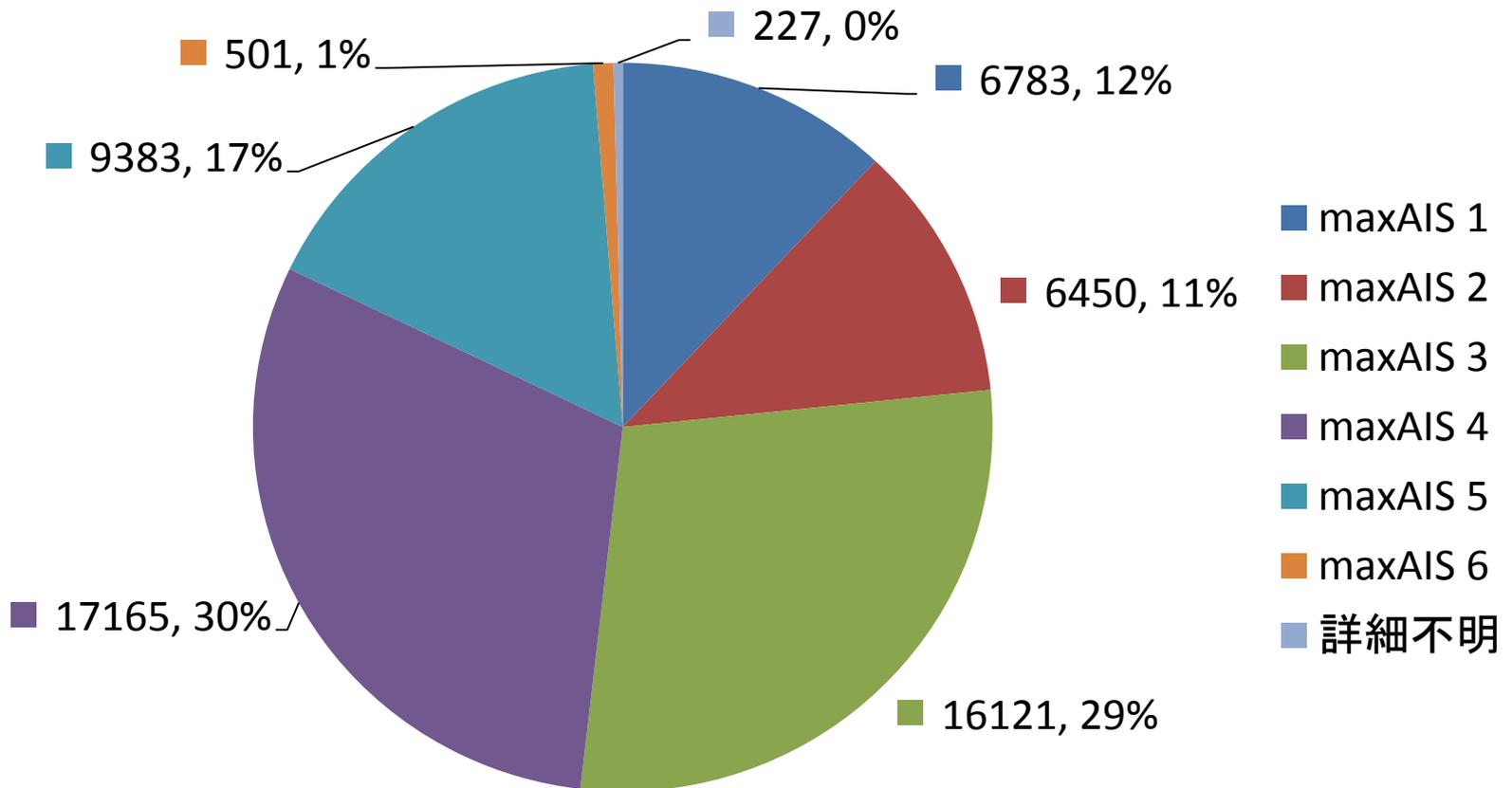


Figure
37B

顔面損傷とmaxAIS重症度

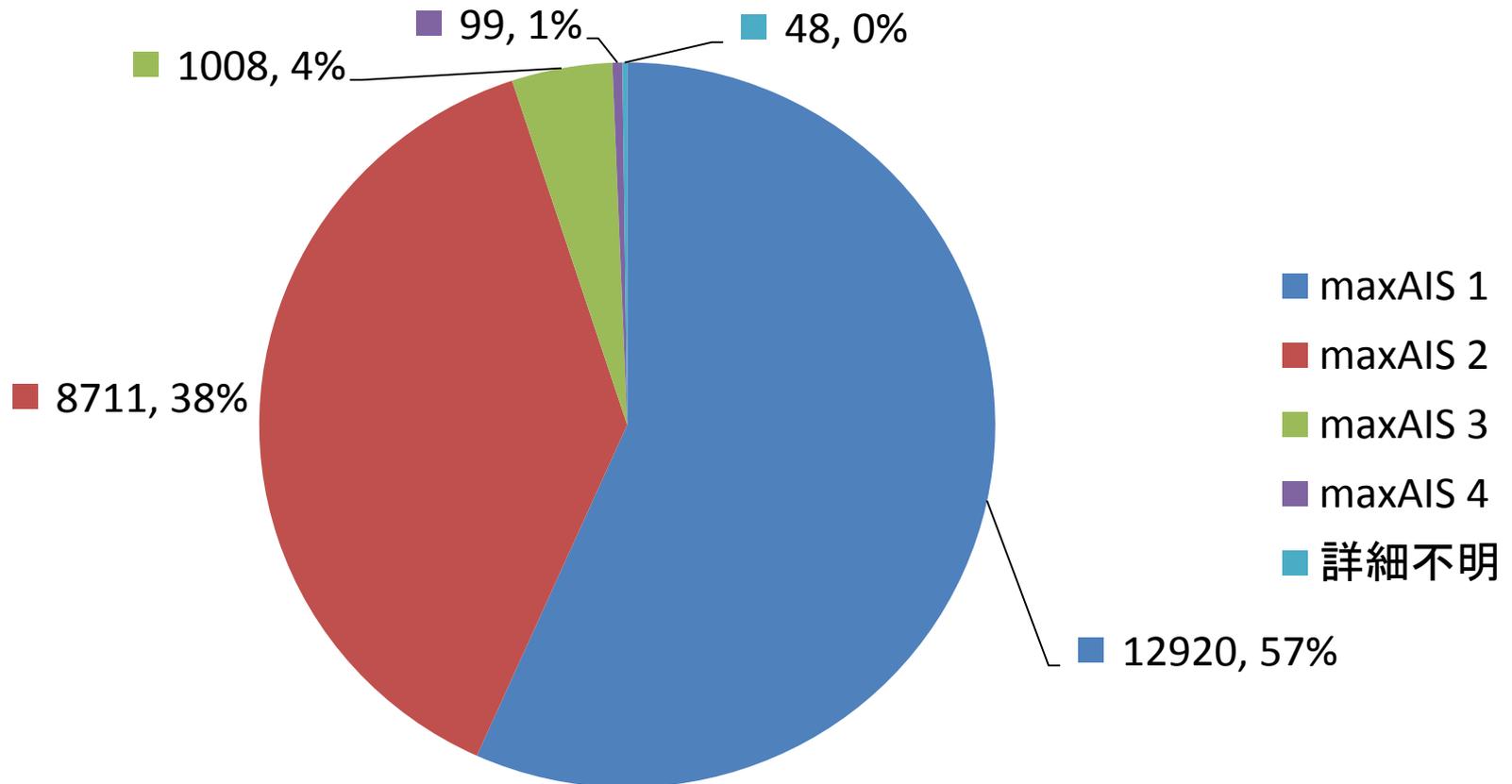


Figure
37C

頸部損傷とmaxAIS重症度

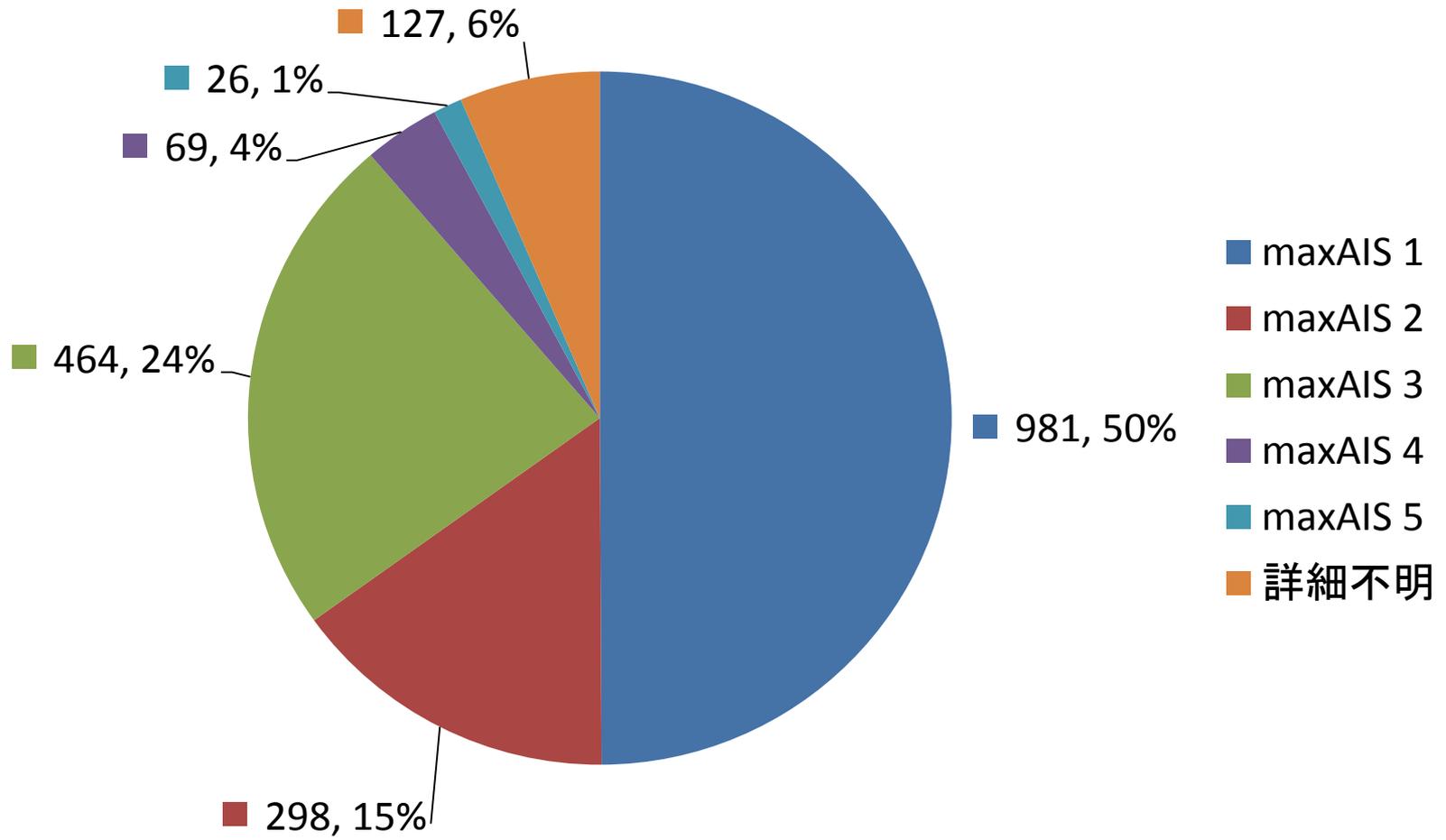


Figure
37D

胸部損傷とmaxAIS重症度

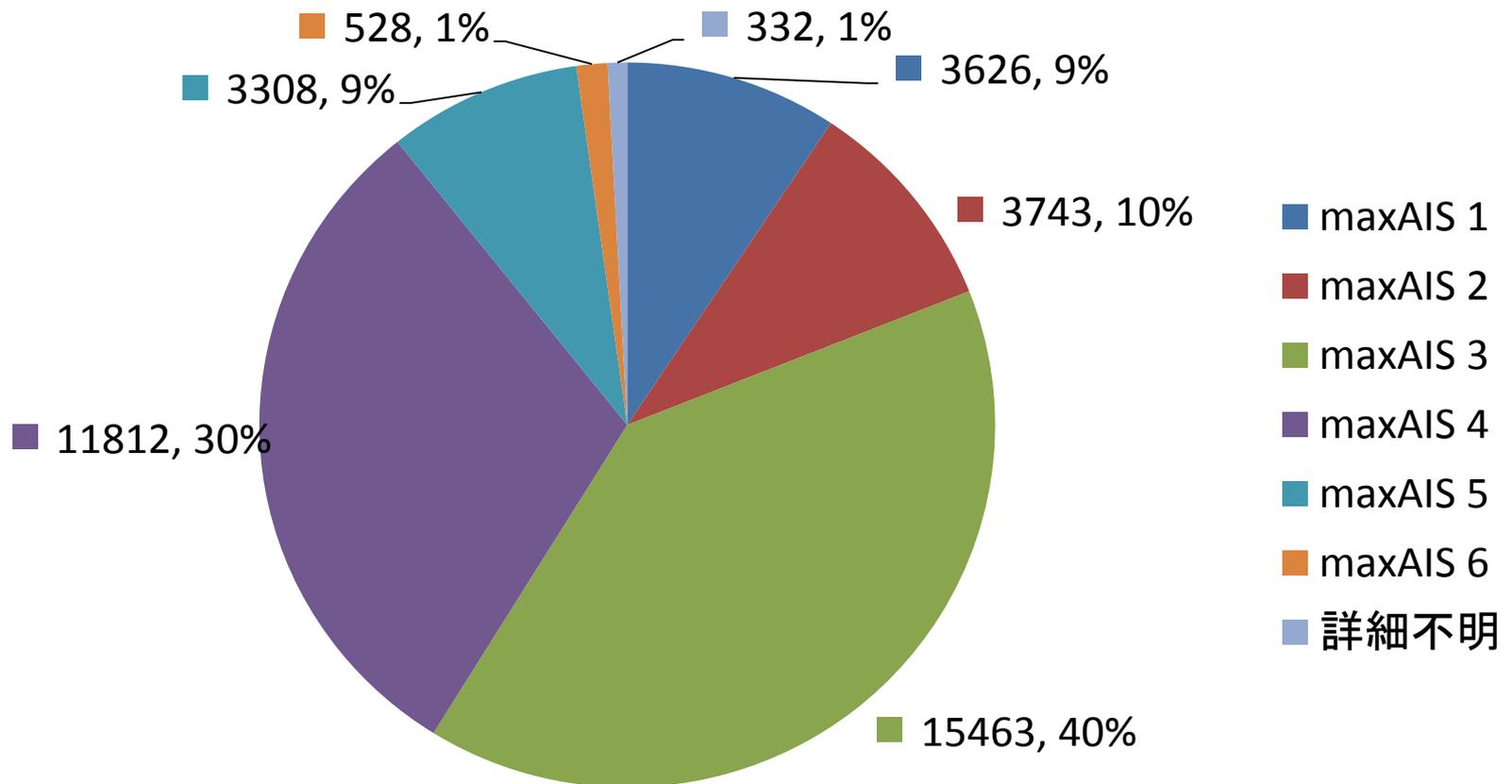


Figure
37E

腹部および骨盤内臓器損傷とmaxAIS重症度

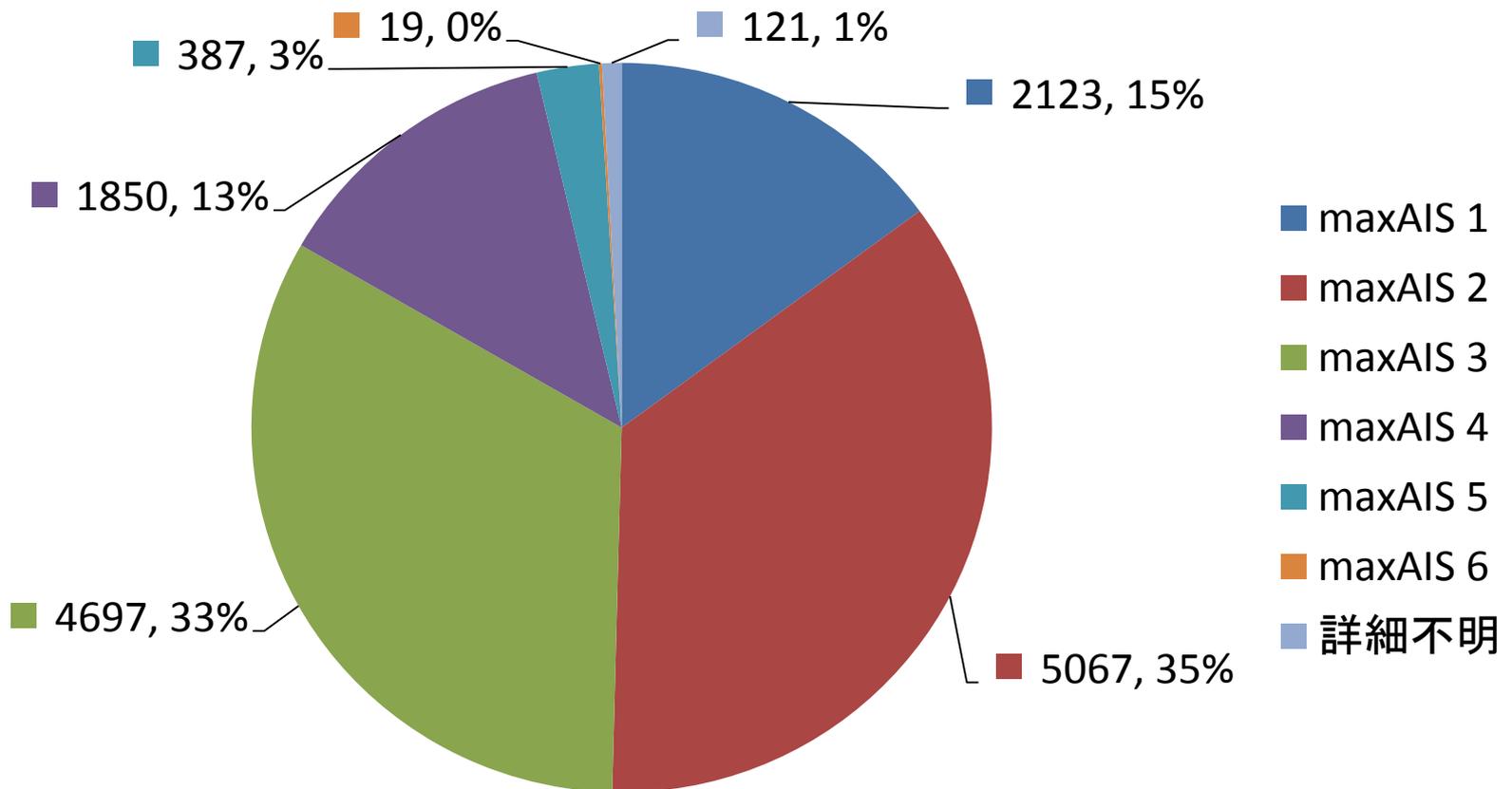


Figure
37F

脊椎損傷と maxAIS 重症度

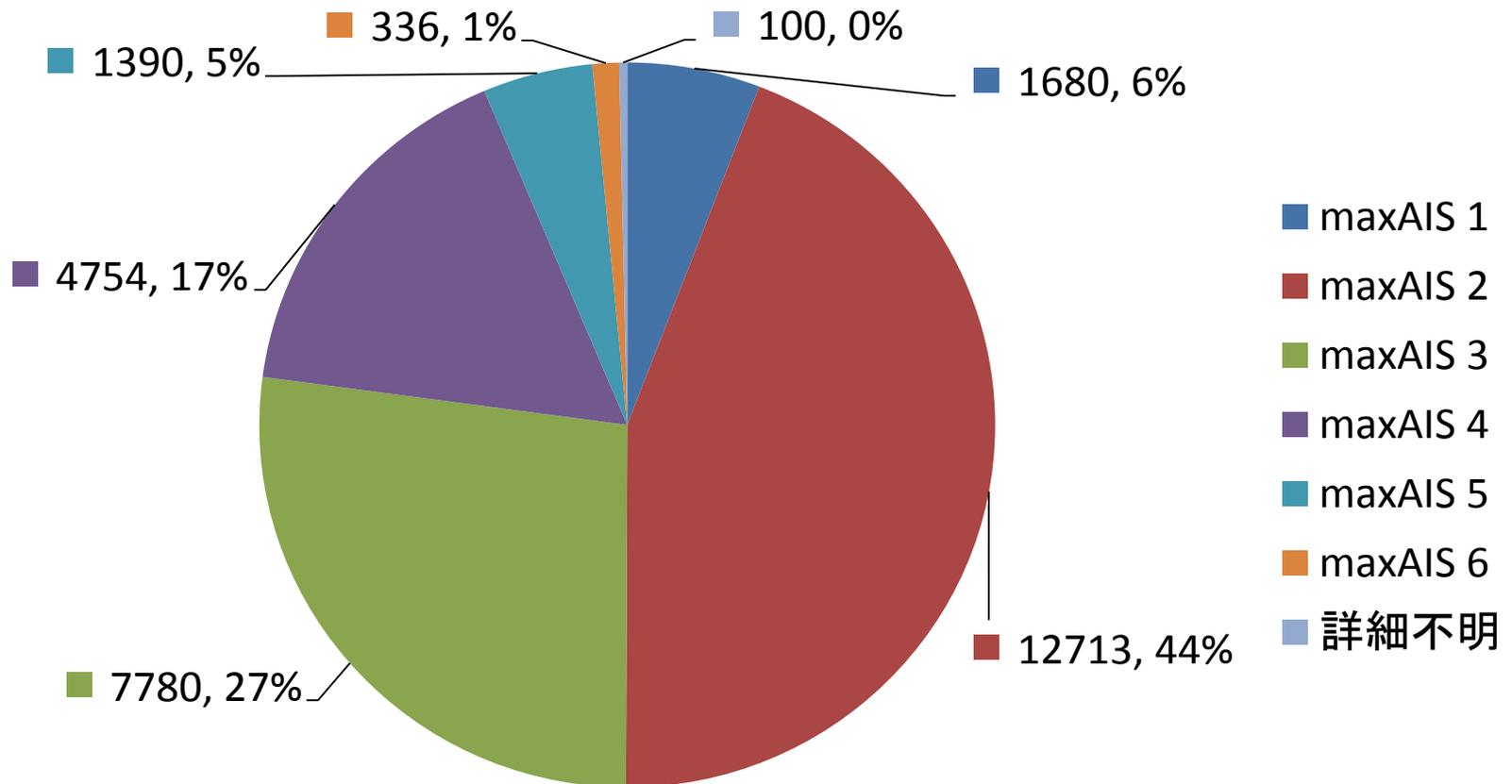


Figure
37G

上肢損傷と maxAIS重症度

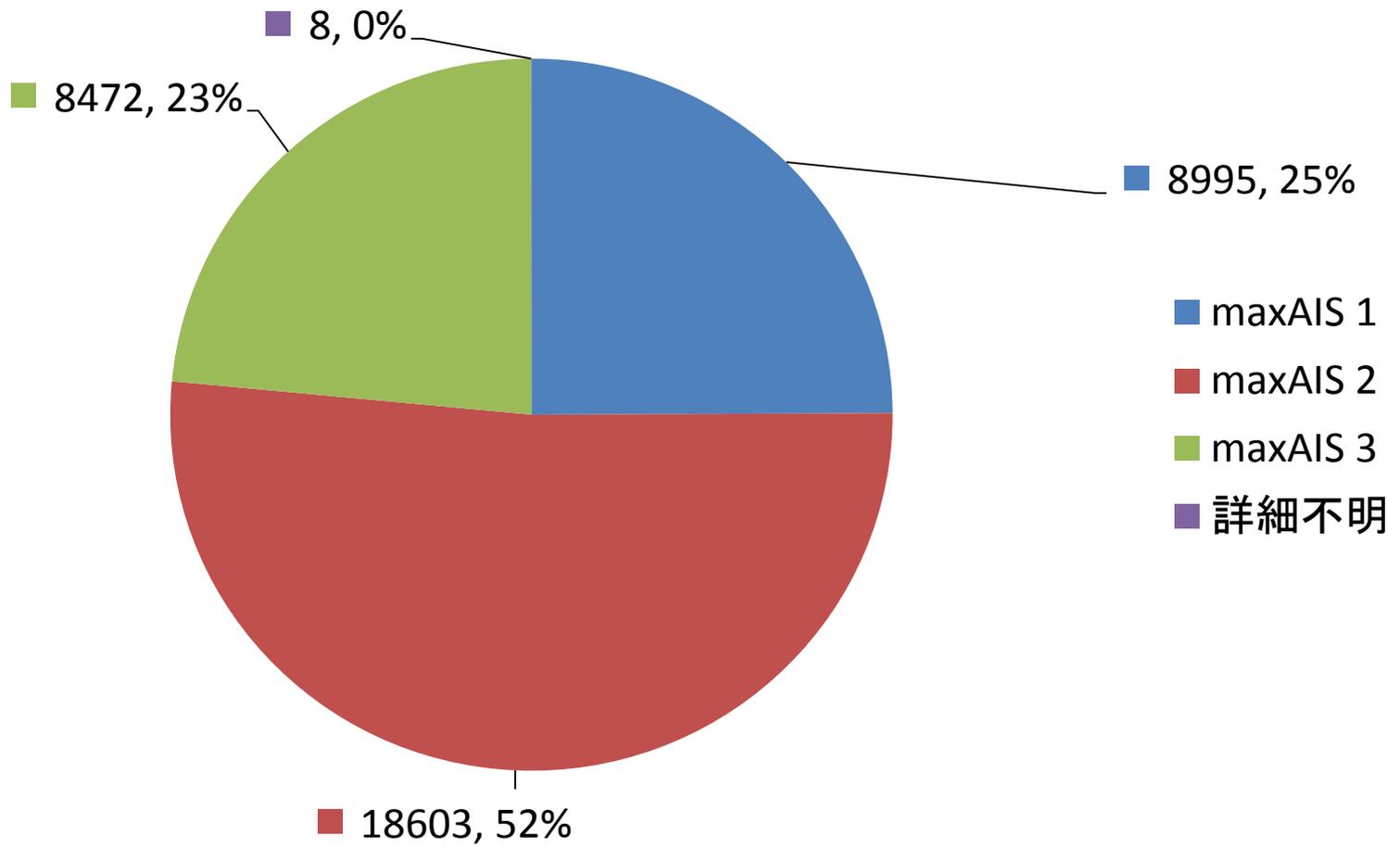


Figure
37H

下肢損傷と maxAIS重症度

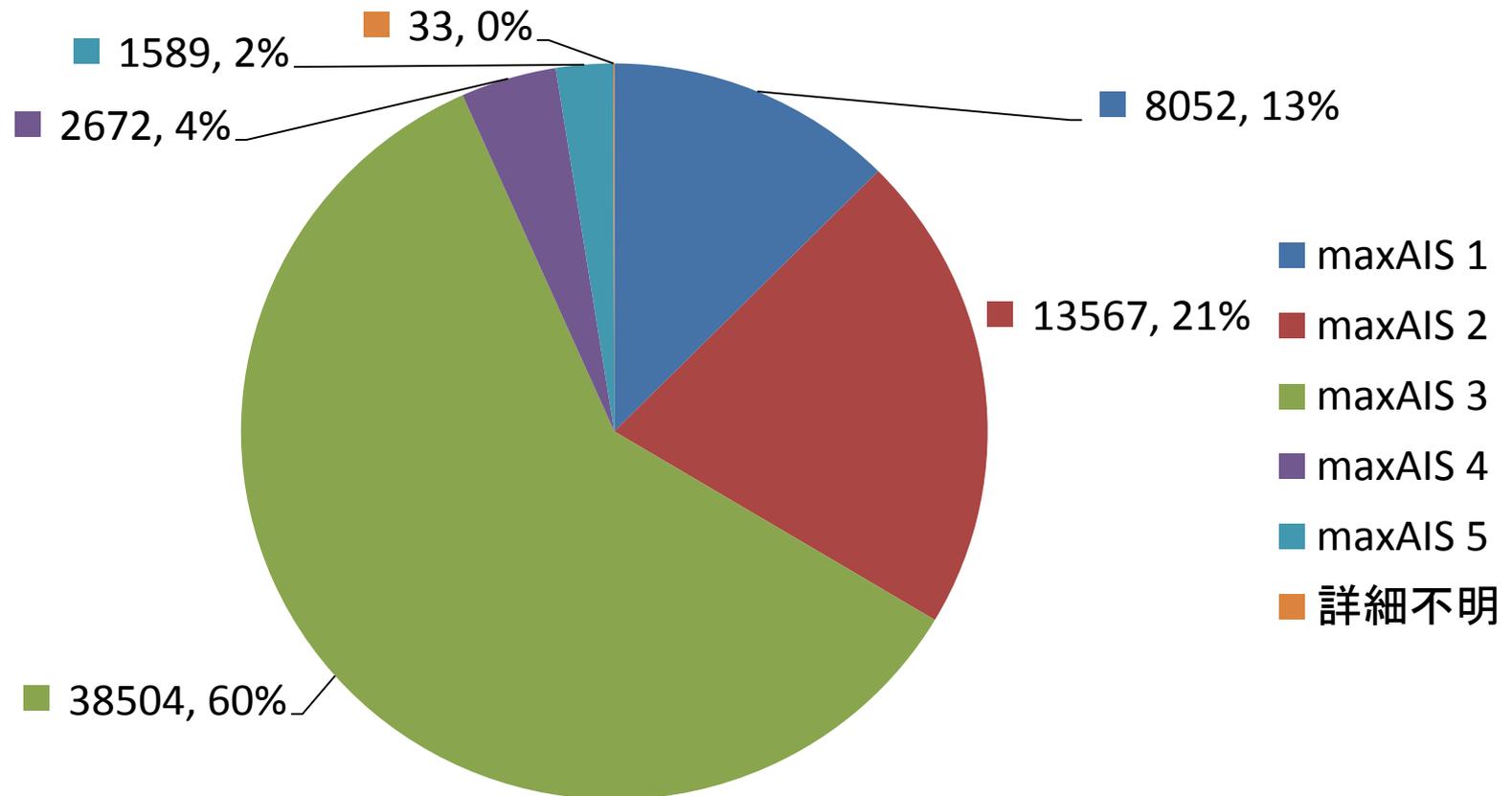


Figure
37I

体表・熱傷・他の外傷とmaxAIS重症度

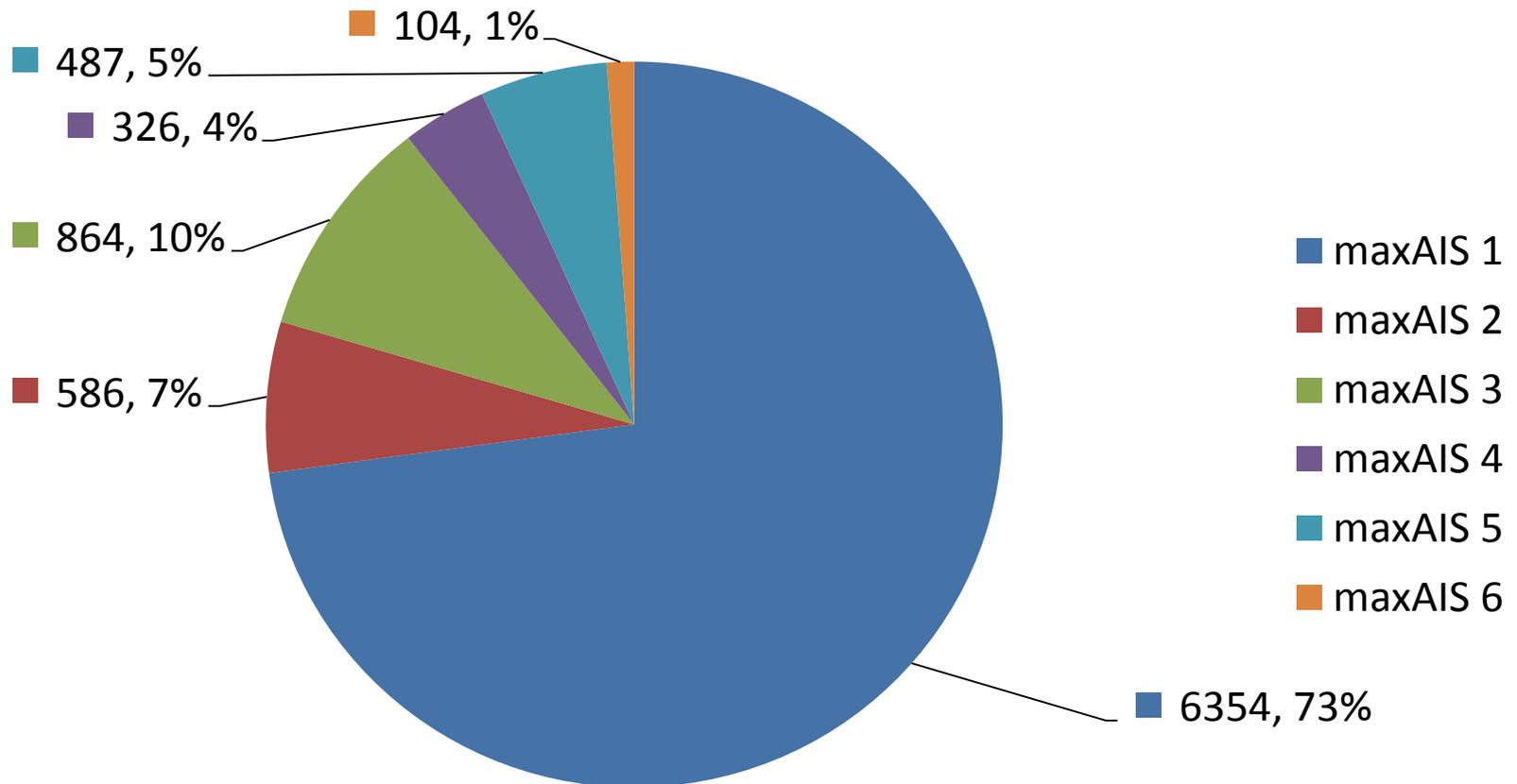
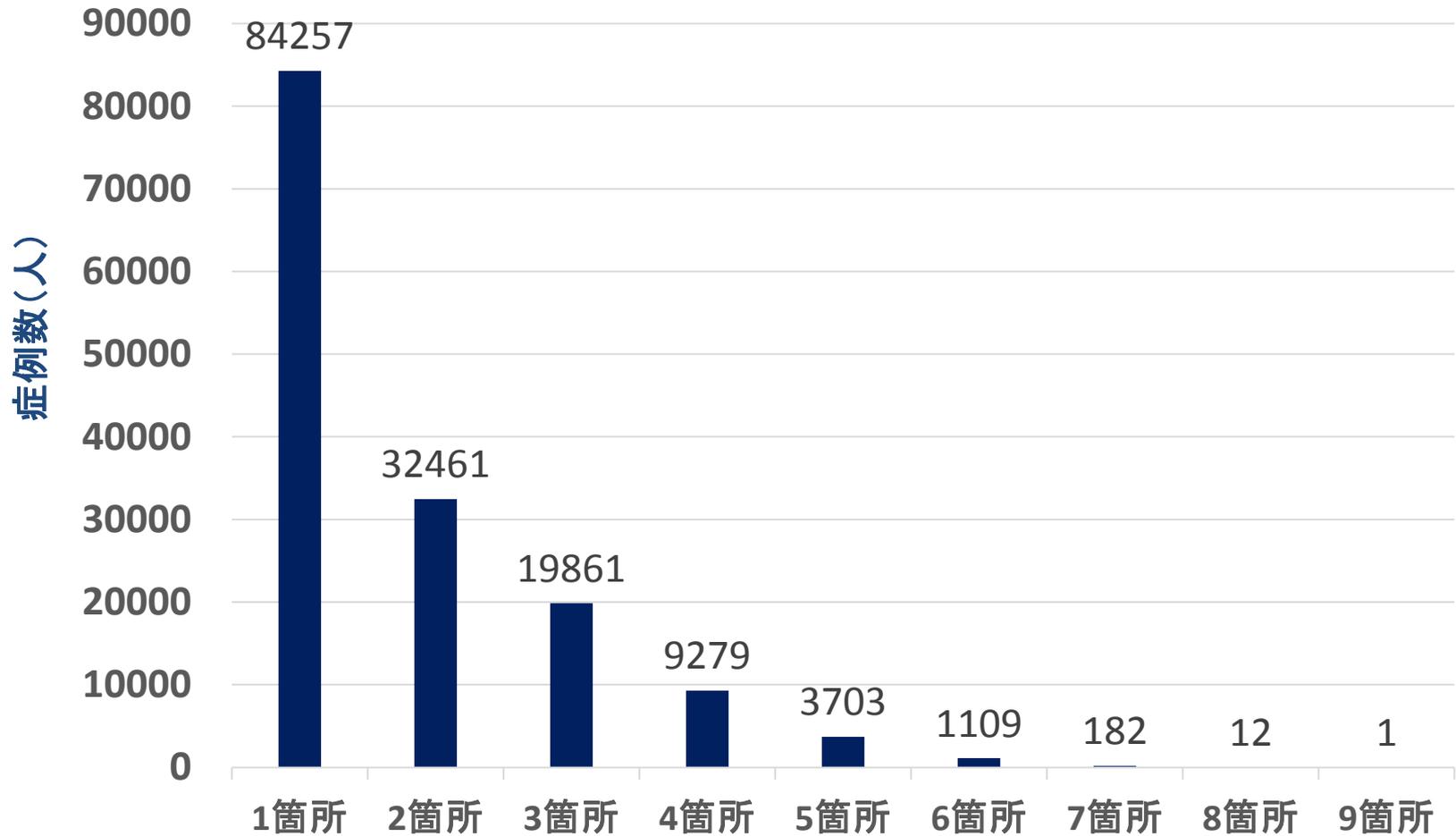


Figure
38

AIS 損傷区分に基づく損傷箇所数と症例数



日本外傷データベース報告 2018
(2013-2017)
JAPAN TRAUMA DATA BANK
REPORT 2018 (2013-2017)

2018年12月17日



日本救急医学会 診療の質評価指標に関する委員会
担当理事 坂本哲也
委員長 森村尚登
日本外傷学会 トraumレジストリー検討委員会
委員長 齋藤大蔵

タスクフォース

阿部智一
上野正人
内田靖之
織田 順
木村昭夫
阪本雄一郎
白石 淳
田中啓司
東平日出夫
中原慎二
林 宗貴
増野智彦
三宅康史
山口芳裕